

保護者用アンケート調査／自由記述欄 保育所・園の保護者

1. 策定に肯定的な意見

あまりテレビはつけず、すぐ手が届くところに絵本を置く。

本当は毎日眠る前に本を読んであげたいのですが、なかなか無理で週に3~4回ぐらいです。まずは家で寝る前に読んであげるとか、そういう身近なところからはじめてみてはどうですかね。

本は普段の生活からは学べないことなどを、それをとおして知ったり学べたり、また、いろいろな感受性がうまれると思います。まずは大人が読んであげ、本が楽しいということが分かると自然と子どもの方から興味のある本を自分で読んだり、「この本読んで」と持ってくると思います。

読み聞かせることによって、かなり言葉や表現を覚えてきたように思います。やはり絵や内容に興味を持たせる本選び、そして読み方も大切な気がします。気に入った本は毎晩読まされます。今ではどんなに眠くても必ず自分で本を選んで読んでからでないと寝ないとという習慣ができます。

音読をすると子どもの発育によいと思う。できるだけいろいろな本を読ませたい。

本人が興味のある分野の本を借りて見せたりする。とにかく親が本を読み聞かせして読書の楽しさを伝える。

本屋や図書館に行ったり、身近に本がある環境をつくる。興味のあるを大事にして広げていくように配慮していく（自分で本をみつけ出せる様に）。

まだ字が読めないのでなかなか進んで読もうとすることをしませんが、絵で把握できる部分も多いので、紙芝居などをしてあげたり、難しい内容も絵がわかりやすいといいと思います。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 保育所・園の保護者

市のホームページに子ども向けのページを作り、このような内容（問11回答）について、幼稚園向け、小学校低学年、中学年、高学年、中・高生向けと分類して、ランキングやおすすめ本の情報を掲載する。それを印刷したり、拡大表示したものを市内の図書館、公民館、小・中学校に掲示し、子どもの目に触れるようにする。そのことが刺激となって、「読んでみようかな」という気にさせることははあると思う。インターネットのアマゾンのようなレビューもいいと思います。

子どもが自分で読めないうちは“読んであげる”という行為自体がスキンシップも含めて大事だと思います。親が毎日できないことを保育園の先生がフォローして読んでいただいたら、本当にありがたいことだと感謝しています。絵本や本からしか学べないこともたくさんあるので、その面白さに気付き、興味のあることからどんどん読んで自分自身の幅を広げるというか、深めていってほしいと願っています。

ちょっと工夫して遊び心がある絵本なら親子で手でさわったり見たり楽しめそう。

やはり大人が一緒に読んであげたり、見てあげるのが一番本を好きになる方法だと思う。借りた本を連日寝る前に“読んで”とせがまれます。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 保育所・園の保護者

2. 策定に否定的な意見

なし

3. 図書館への意見

なし

4. 学校などの施設への意見

なし

5. その他の意見

なし

保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

1. 策定に肯定的な意見

幼稚園で本の貸出をしてくれることはとても良いことだと思います。自分の好きな本を選んだりすることはとても楽しいことだと思います。

上の子が3.4歳の頃、埼玉に住んでいたのですが、そのとき小澤征二(指揮者)の兄小澤俊夫さん(筑波大教授)の講演があり、絵本の楽しさを知り、またその勉強会を受けた方々の絵本の読み聞かせがあり、楽しく教えてくださったことで上の子も私も絵本の楽しさを知り、とても良い機会でした。今では本人、本の世界に入り込んでいます。母親がもっと本の楽しさを知り、「じっとして聞いていなくても別の部屋でも見ているから大丈夫！」「活字が読めるようになっても読んであげるのが大切」と教えてくださったのが大変良かったと考えます。

問11で1番を回答しましたが、付け加えると大人が読んであげるが幼児には必要だと思いますが、絵本を子ども自身が聞くことが大切なのだと思います。家にも様々な絵本があり自分で話を作つてみたり、想像することもとても良いことだと思います。私も小さい頃から親にもっと読書しなさいとよく言われ、当時はあまり必要ないと思っていましたが、大人になった今は本はいろいろなことを教えてくれる物だと思いました。小さい頃友達や姉妹でお話を作つたり本にしたりしました。内容はくだらない物でしたが、自分で想像して文章にすることは意外と楽しく良い思い出です。今の子たちは読書嫌いな子が多いと聞きます。多分今嫌いな子達も大きくなれば本を読む大切さがわかると思います。

子どもはいわゆるスポンジだと思います。良いことも悪いことも何でも自分に興味があれば吸収してしまう。人間は元来知りたがりです。子どものときはなおさら何でも知りたがります。でもそんな子どもを大人はきちんと向き合つて相手をしているでしょうか。本を読み聞かせするのは苦手だからと自分から遠ざかっている人も多いはず。私はただ読み聞かせするのではなく、自分で本を読める子になってほしいと思っていますので、分からぬことを調べたり、教えてくれるのが本なのだと日頃から子どもには言っています。まだまだ自分から調べることはなかなかできませんが、でも、ときどき自分から「これはあの本に書いてあったよね」とか「僕知ってるよ、本にあったから」とか口に出して言うようになってきました。子どもに本は色々な教えてくれる楽しいものだと理解させることができれば本に興味を持つ子どもも増えると思います。

できる限り図書館などを利用させ、文字などに興味を持たせたいと思います

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者**

我が家には現在 160 冊程の絵本があります。好きなときに手に取り、ながめたりママのまねをして声を出しながら読んでみたり「ママ読んで」とお気に入りを持ってきたり、一日に何度も絵本を手にする機会があるおかげでしょうか、娘は大好きです。また、娘が通うひかり幼稚園では毎週お母様主体による絵本の貸出があります。図書室の絵本はきちんと管理されており、目を輝かせて絵本を選ぶ姿に、ひかり幼稚園の子どもは本当に幸せだなと感じています。とても良いことなので、広報もりやなどの図書館のページに「市内の幼稚園や小学校ではこの様な活動をしています」と紹介するのも良いのではないでしょうか。病院の待合室やスーパーの遊びスペースなどにもリサイクル本でかまわないので、本が沢山置いてあつたら、もっと子どもが自然に本に触れる環境ができるかしらと思いました。

うちの場合、幼稚園、学校が読書に取り組んでいるので、必然的に本に触れ合う回数は幼稚園時代から多くなり、上の兄は学校で毎週図書室に積極的に通うようになりました。個人の自主性に任せるよりも幼稚園、学校で教育の一貫としてカリキュラムに加えることで子どもの読書に対する距離が縮まると思います。

私自身、子どもの頃読書をほとんどすることがなかったせいか国語が苦手でした。やはり、読書をすることで国語の力が出てくると思いますので、たくさん本を読んであげて、習慣にしたいと思います。

大人が読んであげると子どもは興味を持ち聞くことができると思います。私も本を読んであげるなんてすることは思っていなかったのですが、子ども（女児）が読んでと言うので寝る前に 3 冊読むようになったら、ビデオを見ながら寝るより、早く寝るようになりました。何度も読むと話の内容が良くわかり、もっと楽しくなるようです。読む人が違えば同じ本でも、感じ方も違ってくるのではと思います。娘が本を好きなので、つられて読んでいるうちに娘と一緒に本屋さんで本を選んでいる自分にびっくりさせられています。子ども達には読み聞かせをしてほしいと思います。

共働きのため、本の重要性はわかっているのですが、なかなか時間がとれないので、毎月ベネッセコーポレーションのしまじろうを利用しています。本を読んであげることはとても重要なことだと思っています。土日を利用して、もっと図書館を利用していくたらと思っております。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

なかなか本を読んで聞かせることができません。親のゆとりに欠けるのではないでしょうか。できたら読んでいただける場所や公演などがあるとありがたいと思います。子どもが多いとその子にあった本を選んだりするのにとても悩みます。

大人が本を子どもにどんどん読んであげれば良いと思います。小さいうちから本を読む機会があれば、大人になっても本は好きになれると思います。

小さいころから本を読み聞かせていれば子どもも好きになってくるのではないかでしょうか？子どもが0才のときから本を読んであげていましたが意味がわかつていなそうでも色や絵を見て目をおっていました。今では、自分で読むこともできるようになり図書館では好きな本を取ってきて読んでいます。読むことができるとカタカナを書くことができたりするので読み書きを自主的にできるのではないかでしょうか。

今、小4の長女は本が大好きで学校の図書室で借りてきては毎日のように読んでいます。幼稚園の頃には毎月1回、幼稚園で購入した本を読んであげていました。本は小さい頃は読み聞かせてあげること、本が身近にあることが大切だと思います。

寝る前に子どもに本を読んであげるのを習慣にしてあげるのが良いと思います。読書を好きになってもらうために、本屋さんや図書館に行って子どもが興味を示したものを選んで一緒に楽しみながら読むのが良いと思います。

小さい頃から親が本を読んであげて親自身も読むようにする。本の話などを普段からするようにして習慣づけること。

毎日、絵本などを読んで聞かせるが大切だと思う。

自分が子どもの頃親にあまり本を読んでもらったことがなく、自分から本を進んで読むようになったのは、小学校の図書室に通うようになってからでした。なので、赤ちゃんの頃から大人が本を読んであげると、小さい頃から本に興味を持つと思います。私たちは引っ越してきたので、守谷市で行っているかは知りませんが、以前住んでいたところでは、赤ちゃんの検診で絵本を2冊プレゼントして頂きました。親も最初の子だとどのような本をあたえていいか悩むので、このプレゼントはとても参考になりました。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

本をいちばん目についたり届く場所においてあげる。

自分自身は本を読むのが好きで読みますが、日頃遅くまで仕事をしているので、読んであげられる時間が少なく内心困っています。本当は親の声で読んであげられるのが、一番良いとききましたが、それがなかなかできないのなら、他の方に読んでもらっても本に親しみをもってもらうだけでも、本好きになるきっかけになれば最高だと思います。とても素敵な計画だと思いますので、ぜひすすめていただければすごくありがとうございます。

読み聞かせは大切だと思いながらも、上の子の用事などでバタバタ（夕方）です。もっと時間にゆとりを持ち末っ子であっても上の子と同じようにもっと本を読まなきやなあと反省しています。寝る前や朝、心のゆとりを子どもと母が持たなきやだめですね

子どもの好きな興味のある本から大人が読んであげていると、子どもがどんどん本を好きになるような気がします。大人の意見、考えを押し付けても、（大人が気に入った本など）子ども本人が好きな内容じゃなければ何度読んであげても興味を示さないと思います。

子どもの好きな本を見せたり、読み聞かせて、子ども自身が本を好きになり、興味を持ち、楽しさがわかるようにしてあげれば本が好きになるのではないでしようか・大人（親や身近な人）が読書をしていれば、その姿を子どもが見てまねをしながら本にふれれば、本が好きになると思います。

本を通して、その内容などで話し合ったり、いろいろ想像したりする力を養うのには必要だと思う。コミュニケーションもとれるから。最初はキャラクターなどから始めて、興味をもたせる。親も読むようにすれば、自然となれ親しんでくると思う。

自分が働いているので疲れているし、なかなか時間が取れない。夜、寝る前になるべく読んであげられるようにしている。1日読むと習慣化する。

私が小学生の頃は夏休みの宿題といえば読書感想文がありました。今は選択制になっているので、興味がない子はずっと避けて通ることができます。感想文は「読みたくない本を読まされる」という苦痛のかたまりでしたが、今思うと無理矢理でも本に接する機会を作られたことは、とても良いことだったのだと思います。推薦図書を読んで本当に感動したり、それを原稿用紙に自分の言

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

葉としてまとめたり。当時は嫌だった宿題ですが、とても貴重な財産となっているように思います。感想文となると、それをきっかけに「本嫌い」になる人もいるので、強く言えませんが、例えば「夏休み中に10冊読む」といった宿題が出れば、無理矢理でも本を読むようになります。結果として豊かな財産になると思います。（小4＆年中の母）

できることなら毎日読み聞かせをしてあげたいのですが、やはり家事や下の子に手をとられ親としてもはがゆいところです。（時間をみつけて読んであげているつもりですが。）ときどきは兄が読んであげたり、自分で絵を見るのも好きなのでそれなりに絵本と関わりを持つはできていると思います。自分で文字が読めるようになれば、また世界が広がることでしょう。また、幼稚園の方からお友達と図書館に借りに行ったり、先生に読んでもらったり、とても楽しいようです。サークルのお母様達にも読んでもらっているようです。中央図書館まで足を運べば読み聞かせがあるようですが、なかなか行けません。近く（郷州公民館）でそのような時間があれば是非参加してみたいと思います。

家庭ではもちろんのこと他の場所でも読み聞かせに接する機会を多くしていくと良いと思う。

読書活動を推進することは子どもの創造力・文章力を豊かにするために必要なことだと思います。大人も一緒に楽しめるような活動だといいなと思います。

まだ上手に字が読めないので絵本が好きみたいです。絵を見ているだけでもあらすじの分かるような本を紹介しています。

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者**

**2. 策定に否定的な意見**

基本的に親が強制するのではなく、本人が興味をもちだしたらでかまわないと私は思います。私の経験からですと、子どもの頃に読んでいた本は、親や先生などまわりが良いと思う本だったと思います。必ずしも、それが自分の興味ある分野だったかと言うと少し疑問です。長い目でみると、本・活字にふれる機会はたくさんあると思うので、1日何冊読むということではなく、本・文字のおもしろさを伝えられたらいいなとおもいます。

園児にはまだ早すぎる気がする。本の読み聞かせの前に他にしなければ、教えなければいけないことがたくさんあると思います。本人が興味をもってからでいいと思う。無理強いしてまで読み聞かせする必要性はないと思うし、将来の役に立ってないと思うから。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

3. 図書館への意見

おはなし会を楽しみにしています。土曜日に限らず不定期でもよいので日曜日にもやって頂けると嬉しいです。

図書館で年齢別に楽しい本の読み聞かせの会をたくさん開催してほしい。紙芝居もとてもよいと思います。また、年齢別におすすめ絵本をまとめて表にしてくださると目に付かなかったところにある本に出会えると思います。絵本棚の一番下の段は選びにくい。

子どもが歩いて行ける距離に図書館がないので、移動図書館があると良いと思います。（公民館、図書館に遠い地域に来てくれるとうれしいです）

図書館に行くのが面倒なこともあるので、でも本を借りる機会を子どもに作ってあげたいので「移動バス」のようなものが定期的に家の近くに来てくれたるとても助かります。ちなみに私が子どものころそのようなバスが近くに来てくれたのでよく本を借りました。（神奈川県）

図書館で子どもの本を選ぶとき借りたい本が決まっていればすぐにみつかりますが、なんとなく何か借りようかな、というときはなかなかほしい本が見つかりません。赤ちゃんモノすぎたり、字が多すぎたりして自分の子どもに丁度よいレベルの本が見つけにくいです。年代別にお勧め本を張り出したり、リストにしてあると利用しやすいと思います。推薦図書のポスターを見たことがあります学年や年代がばらばらであまり役に立たなかったです。1階でやっている読み聞かせの会は面白いです。ボランティアでやっているのであまり回数がないのが残念です。

移動図書館があると便利だと思います。かわいい車で地域を回ってもらえたなら子どもも喜んで本を借り、パートなどに出てる母親たちも夕方ぐらいなら子どもと気軽に本を借りられるので母子の楽しみになるような気がします。

字がまだ読めないころは毎日読んであげるのが一番だと思う。親としてはいろいろな本を読んでほしいが、お気に入りを毎日せがむので今のところ同じものを一日何回かにわけて、毎日続けている。本が楽しいと思うのが一番と思うし。「子どものとも」の本の一覧のように子どもの本を紹介するような本も出版されているのでそれを貸し出してほしい。それなら、図書館でどこかに行ってしまう子どもを気にしながらコンピュータで時間をかけて検索しなくても

### 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

スムーズかと思う。字が読める子なら読みなさいというより、大人が自分でも読む姿をみせるのがいいかな。電車でお母さんと子ども4人全員が静かに本を熱心に読んでいたのを見たので。（漫画ではなかった。どの子も）

小さい子どもがいると図書館までなかなか行けないので移動図書館などのサービスがあるといいです。移動図書館の際に紙芝居を読んだりしても楽しいと思います。

図書館などで読み聞かせの会や紙芝居などをみたりするようなイベントをたくさん開催してほしいです。子どもと本を借りてもだんだんキャラクターもののようなものを選びがちなので色々な本に出会える（親も含めて）と新たな発見や面白さがあって良いと思います。

図書館の職員が学校や幼稚園へ出向き、読み聞かせをしてあげるべきだと思う。（本の紹介など）

私が仕事の休みの日に守谷中央図書館に何度も行ったのですが、よく休館日を見ないで行ってしまい、毎回休館日でした。幼稚園に移動図書館がきてくれたとしても便利だと思います。

昨年の移動図書館おはなし隊が来たときは子どもがとても喜びました。ただ今度来るのは当分先のようなので残念です。図書館は私も子どもも好きでよく利用しますが、移動図書館車があつたら子どもも喜ぶし、子どもが小さくてあまり図書館を利用できない方も助かるのではないかと思います。守谷市に引っ越す前は東京の町田市に住んでいたのですが、1、2週間に一度移動図書館車が来ていました。

わが子は週に一度本を二冊幼稚園から借りてきます。本を借りること自体は半強制的ではありますが、自分で本を選んで借りてくることを繰り返すうちに、自分で読む回数も増えてきています。自分で読みたくなる環境を整えてやることが重要だと思います。私がやっていることは①幼稚園で配布される図書申込書や生協の注文用パンフに載っている本を市の図書館で借りる②一度読んであげる③子どもが気に入った本は寝る前に四冊前後読んであげる。④覚えてしまった本はいっしょに字を追いながら声を出して読ませる（まだ自分ではじめから字を読み取りながら理解するのは無理ですので）

昼間は私も家事や仕事でなかなか本を読むのに付き合う時間が取れないので、寝る前には（遅くならない限り）必ず読んでやっています。以前は本屋で

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

購入してあげることが多かったのですが、どうしても買う頻度が少なくなるので、借りることが多くなりました。気軽に借りられる図書館があるのは大変助かります。（図書館で本に触れる機会はまだほとんど作ってあげていません。遠いので）インターネットでの検索、予約をフル活用しています。要望として①現在、守谷市内の図書館にない本はリクエストカードに記入して提出していますがこれもインターネットでリクエストできると利便性があがると思います。②園児へのおススメ本が簡単にわかるようなしきみがあるといいと思います（ネット検索のときも）

### 移動図書館

公民館の図書室の閉館時間 16：30 が早い。パートで働いていると（一番行きやすい近い公民館の図書室なのに）平日は間に合わない。なぜ 16：30 なのでしょう。はやくとも 17：00 になると利用しやすいです。

幼稚園や小中学校などで出張おはなし会などを聞く。また、図書館では絵本の題名順にしまってあるので題名がわからっていないと探すのに苦労することがあります。「季節もの」「挨拶などのしつけもの」「自然もの」「車が登場するもの」などとわけてあると子どもが飽きて騒ぎ出す前に本を探し出せるような気がします。

幼児でも見てすぐ分かるとか、図や絵がはっきりしている図鑑などがあったらよいと思う。図鑑などは厚いものがほとんどなどで幼児でもみやすいものがあれば。図書館の利用方法など園児に直接話をする場をつくったらよいと思う。（保育所・園、幼稚園に出かけて話をする）

図書館でいつも思うのですが、昔からの定番図書や課題図書は目に付くところにあるのに、他の本は機械的に分類されている印象が強いです。常時というのは無理かもしれません、子どもの目から見てもわかりやすいようにテーマ、季節にあわせた本の展示、貸出をしていただけたらなあと思います。

書店や図書館に読書アドバイザーのような方がいてくれると良いと思います。「こういうとき、こんな本を読んでみたらいいですよ。」という感じで…。

### 移動図書館を作ってほしい

昔からある名作や自分が読んでいた本は分かりますが、新しいよい本は情報

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

が少ないので図書館から発信してもらえるとうれしいです。今は教育テレビの「テレビ絵本」をよく参考にしていて、よい本にたくさん出会えました。

幼稚園の頃からみんなで図書館にいったり、幼稚園児専用移動図書館があつて、年に数度でも貸しにきてくれるとかはどうでしょう。

子ども達を図書館へ連れて行くことに少し抵抗がありました。図書館は静かにししなければいけない所であると思い、小さな子ども達にそれを理解させることができたとしても、そう長時間我慢できることでもないからです。本を借りるにも子どもの好きな本をと思えば選ばせることに時間がかかり、うるさくなり周りの人の迷惑になるかなとも思います。ですから結局買うことが多くなり図書館には足が遠のきます。たくさんの本を図書館へ行けば読んであげられるし、色々な本を聞けることで子どもも本が好きになると思います。市役所の隣にある図書館は、児童用の本と別室になっているため、あまり気にしませんが、近くにある公民館の図書室ではやはり他の人に迷惑がかかるなどを気にします。できれば、子どもに本を読んでやれる別の部屋を用意されていれば利用できる人も増えるであろうし、子どもも本を読んでもらった記憶が残り、本を読むことの好きな人が増えるのではないかと考えます。

絵本を読みながら「他者に心があること」「他者の心を尊重すること」を教えています。このような題材になる本をご紹介頂きたいと思います。自然に本を読むようになる子はまれであり、そのようなことを期待しても意味がないと思います。ある種の強制があってしかるべきだと思います。図書館の駐車場が狭く、利用しにくい状況です。離れたところに停める可能性を考えると子を連れて行きにくいです。

図書館で本を借りてくるときになるべくその季節に合う本を借りてくる様にして、季節感を味わってもらいたいと思っています。季節に合う本のランキングなどしてもらうと借りるときの参考にできるので、そうゆうのもあるとうれしいです。

親がテレビやビデオに頼りすぎないようにできればいいのですが、親の世代がすでにテレビ好き、読書嫌いが多く難しいことだと思います。親が読んであげることが理想ですが、読み聞かせが苦手という方は多いです。おはなし会があることを知らない方も多いようなので、もっと知る機会があるといいと思います。おはなし会へ行き、子どもが喜んで聞いているのを見ると読んであげよう！という気になる方もいると思います。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

立派な図書館があるので無理かもしれません、近所に移動図書館（車）が週1回位廻ってきてくださったりすると、本に触れる機会が自然に増えるかなと思います。

読み聞かせの会を多くひらくようにしていただけるといいです。

以前子どもが紙芝居が好きで毎週のように図書館で借りていました。しかし、その紙芝居は切れていたり、ひどい物ではごはんつぶやラーメンのメンなどがべったりとついているものがあり、とても不快でした。それ以来、紙芝居を借りることもなくなり、図書館へ行く回数が減りました。子どもには本をたくさん読んでほしいのに、買うことしかできないのは残念です。借りる人はマナーを守り、気持ちよく図書館を利用できるように心がけたいものです。

良い絵本として紹介されている本が貸出中のことが多いので、有名な絵本の数を増やしてほしい。

図書館でたくさん借りたいが、本に何かあると（破れたり）怖いので、つい買ってしまいます。できれば表紙と中のページのフチに丈夫なテープで保護してほしいです。そうすれば小さな子がいても、気兼ねなく渡せると思います。

私が図書館によく行くので、子どもも1階の子どもの本のところでよく絵本をかりています。表紙が見えているほうが選びやすいようです。取り出しやすいので。背表紙だけだと、内容が分からず取りづらく戻しづらいようです。私はよく2階で本を借りていますが、子どもコーナーと場所が離れているので長居できず子どももゆっくり本を選べず1冊ね！とあわてて、選ばせています。10分でもいいので、職員の方が子に付き合ってくれると親子共々ゆっくり本を選べるのにと思うのですが、ぜいたくですか？

図書館のホームページで好みの本を探そうと検索すると、なかなか思うようにヒットしません。いろいろな角度から検索できるようにしてほしい。

家の中で子どもが本をすぐに手にとれる環境があることが大切なので、いろいろな本を借りられると嬉しいです。ただ図書館は時間が決まっていて、なかなか行かれない（車がないので）のが残念です。週1がせいいっぱいです。もっと近くで本を借りられるといいです。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

小学校、幼稚園の振替休日はたいてい月曜日です。月曜日も図書館が開いていると利用しやすいと思います。一番近いのが中央図書館なので、よく利用しますが、絵本はタイトル順よりも作家ごとに並べられている方が選びやすいように思うのですが、好みでしょうか？もともと子どもは本を読んでもらうのが大好きだと思います。忙しくて大変でも親が読んであげる時間を作るとよいと思います。字が読めるようになってからでも、続けてあげたいなと考えています。

守谷の図書館は設備・内容共に充実していて満足しています。ネットの予約システムも便利でいつも活用させてもらっています。ありがとうございます。

子どもを連れて図書館に行っても、ふざけたり、一緒に連れて行く妹（1才）が走り回ったりすると、落ち着いて本を選べず、そそくさと帰ってしまう事がたびたびあります。何かいい方法はありますでしょうか？少しぐらい騒いでもいいコーナーとかおすすめの本を年令別に入口近くに置いてもらうことはできるのでしょうか？要望のようになってしまいましたが、大人が本を読んであげるのがやはり、今の時期大切だと思います。

自宅に車があり、気軽に手軽に図書館を利用できれば本はもっと借りるかもしれません。が、自宅からバスなどで図書館に行くのは大変です。園へのお迎えの時間に合わせ、車での巡回図書館が児童書をつんできてくれたらしいなあと思います。絵本や児童書は高価なのでたくさん読むには借りるのが一番よいと思いますが、借りられる機会を増やすにはそんな方法もあるのかなと思いました。

乳幼児をもつお母さん方に読み聞かせの大切さをもっと知ってもらうことが大事（公共施設にある小冊子程度では無理だと思う）経験の少ない若いお母さん方を育てる。読み聞かせ講座を今より気軽に受講できるようにしてい。

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者**

**4. 学校などの施設への意見**

読書の時間を作る（幼稚園・学校で）。年齢に関係なく読んであげる。

幼稚園に通園していますが、どのくらい読書の時間があるのか分からぬので、読書の動機付けを園で勧めていただきたいと思います。

幼稚園に図書室を設置すべき。

幼稚園などで、本や紙芝居をたくさん読む先生が（クラス関係なく）いればいいなと思います。

園を通してでも良いので、本を貸し出してみてはどうですか？子どもが興味ありそうな本を選んで持つて行って、その中からまた、子ども自身に選ばせたりとか。園に読み聞かせに行くというのはどうでしょうか？

まず子どもが小さいときから、本の読み聞かせなどを行い本に興味を持たせることが大事だと思います。そのためにもまた字が読めない子どもには親や幼稚園などで、読み聞かせなどをたくさん行い、図鑑や絵本のような読まなくても見るだけでも良い本などを身近に置くことが大切かと思います。特に母親が寝る前に本を読んであげるというのはとても大切なことのように思います。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

5. その他の意見

子どもは何でも大人の真似をしたがるものですから普段から大人が本を読んでいるところを見せると自然に自分から読むようになります。

小さい頃から本に親しむことが子どもが本を好きになることにつながると思います。そのため本を読んであげる、一緒に本を読む時間を作るようにしています。

子どもに読書が大切と教える前に大人が読書の大切さ面白さを知り、子どもに楽しく優しく読んであげることや子どもがどんな本が好きかを知ることができれば親もその本を読み、共通の話題で会話ができれば楽しめるのではないかのでしょうか。次第に親が本を読んでいる時間、子どもも絵本を静かに見てくれるようになりました。人気の絵本を紹介するだけでなく、マイナーな絵本の紹介をしてほしいと思います。内容が分かれば並んでいる本の中でも悩まず手を取れるので。

子どもは本当に本を読んでもらうのが好きだと思うので何月何日の何時というのではなく（読み聞かせ）何人か集まつたら誰かが読んであげるというように、いろんな場所で常に絵本に会えるチャンスがあればそれが理想かと思います。親が毎日様々な本を読んであげるのが一番だとは思いますが外でも思い切り遊ばせたい、食事もそれなりに作ってあげたい、早寝もさせたいなど、本を読んであげるのはわずかな時間があれば可能だと頭では分かっていても時間におわれてついおろそかになってしまいます。

小さい子どもにはいかに絵本の世界へ連れて行ってあげるかその前に下読みをしたりすることもあります。出てくる人物によって声を変えることはいつもしています。なにより大人が楽しんで読んであげると子どもが喜びますね。

はじめは寝る前に読んであげる…というスタンスでしたが、今では子どもの方から「ママ、本読んで」と頼むようになってきました。自分で読めるところを読んでくれるときがあり、成長を感じます。本を読む環境づくりは親の役目かなと思っている次第です。

子どもは読んでい気持ちちはあります。が、時間がありません

本をいつでも読めるように、座る場所や身近に置いておく。辞書や図鑑など

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 幼稚園の保護者

テレビの近くや疑問に思ったときに調べやすい場所に置いておく。読書タイム（寝る前など）を決めて読む。

やはり、周りがテレビを見たりゲームをしたりしていると、読書に集中することはできないと思います。だから、大人だけ・・・。子どもだけ・・・。ではなく、家族みんなで1日10分でも「本を読む時間」を持つように心がけたらしいと思います。

まずは、本の楽しさを教えることが一番だと考えます。字の読めない子どもに対しては、大人が読み聞かせが必要だと思います。が、小さい子に手がかかり、ゆっくりと育児を楽しんで、本を読ませてあげることもできないのが現状です。園児に対してやはり、図書館などへ連れていき本を身近に感じさせてやることが大切だと思います。

テレビやゲームなどにない、想像力や発想力が身につき、字に対しても興味が少しずつわくと思います。まだ、小さい年から大人が読んであげることによって、読んでもらうのが自然なことであり、興味を示していなくても、音楽のようにただ遊んでいる中で読んであげるだけでも、子どもの耳に入りそれから少しずつ、本に対しておもしろい物だということがわかり、興味をもち読んでくると思います。そして次々違った本を読んでとなっていました。集中力もつき、長い間でも聞いていられ、本からいろいろなことを学びました。毎日本を読まなくては寝なくなりました。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

## 1. 策定に肯定的な意見

是非推進してほしいと思います。普段は、なかなかゆっくりと本を読めないので長期休暇を利用して子どもに読んでいと思います。知識もそうですし、情景を頭に浮かべながら、楽しい本に会えて読めるのが一番の理想ですね。テレビゲームも否定はしませんが時間を決めて読書と両立できることが一番良いことだと思います。頭の一番柔らかく、吸収できる時期なので、良い本をたくさん読んで、いろいろなことを学んでいと思います。

まだ低学年なので、本を読む機会やクセをつけておけば高学年になっても、イヤがらず読めるのでは？本の種類は問わず、本人が興味や好奇心を持つことが大切なのでは？それには、その子の周囲の人達の力も必要だと思う。

大きくなるとゲームやアニメーションをもとにした本には夢中になるが、いわゆる良書をじっくり読んでいる子どもが少ないように思います。読書するとの楽しさを伝えるような活動が多く展開され、それに子どもが多くふれることによって読書の量はふえ、心は豊かになっていくと思います。図書館の各種活動のほか、学校図書館の役割も重要になると思います。

今の子は習い事が多いので本を読む時間があまりないと思います。もっと親も時間を作って親自身がゆったりした気持ちで本を読む姿を子どもに見せられたらと思います。

導入として、授業時間の中で読書をすることは、大変重要なことだと思う。その中で、ジャンルに関わらず、好きな分野を見つけさせることが読書に興味を持たせるきっかけになると思う。

まずは楽しいものだと思わなければ、なかなか読み続けていかないと思います。我が家では、子どもが自分で取り出しやすい棚に入っています。読み聞かせるときは声をかえたりと演出します。もっと小さい頃は眠る際は必ず読んであげていました。本選びは、頂きものもたくさんありますが、一緒に本屋へ行って相談しながら購入します。紙芝居などは図書館で借りて来ます。やはり、身近な人が読んで聞かせることを習慣としてできていけたら、子どもも自ら読んでいくようになるのではないか？

子どもは飽きっぽいので、本を続けて読める継続力が必要だと思います。

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者**

私は、子どもが読む読まないとしても、絵を見て自分の話を作りながら読んだりする姿が、とても好きです。自宅にある本には、限りがありますが、図書館に行くとたくさんの本があるので連れて行きます。自分で本を手に取りゆっくりと読んでいる姿。自分で話をつくって読んでいる下の子を見ると、自分もおだやかになります。話は変わりますが、守谷市の図書館の作りが、とても大好きです。実家の図書館に連れて行くと、「シー,シー」の繰り返しで大人の方に迷惑かけないようにすることばかりで、子どもももすぐに帰ります。環境も大事だといつも思っていました。

親が読み聞かせをしてあげるのが、本を自分で読んでいくきっかけにはなると思います。5分でも10分でも作って読んであげることが大切だと思います。

小学校（中、高校も）で読書の時間を設けて、教室で静かに集中する時間があれば良いと思う。自主的に読めば良いのですが、時間を設けて、強制的に読ませることで、本とふれあうきっかけを作り、興味をもつようになってほしい。また活字に慣れることができます。

今はどの学年も宿題が少ないような気がします。週に一度の読書で、感想文を書くというのがあれば、嬉しく思います。私自身、今は本をあまり読まなくなりましたが、子どもの頃はよく図書館へ行き、何度も同じ本を読み返したりしたものです。

子どもが小さい頃、たくさん本を読んであげることが大事だと思います。あとで子どもが小学生になり、自分でスラスラ読めるようになったときに、差が出ると思います。

子どもの文章の本にはあまり興味がなさそうだが、恐竜や虫についての図鑑、パズルやクイズの本には興味を示しているので、とりあえずいいかと思っています。でも、読書は想像したり、人と話をしたりするときに表現力がちがったりするので大切だとは思っています。読み聞かせも大切なのはわかっていますが、仕事をしていると、つい時間に追われるような感じで、ついつい人まかせになってしまっています。昼間は、友達と約束をしてたりするので、せめて本人が読まなくても、親が本を読む姿勢や、夜寝る前に読み聞かせてあげるようしたいです。

私も主人も子どものときは本が大嫌いでした。私は外遊びが大好きで字を読むことが面倒くさかった。他の遊びをしたかった。結婚し時間ができたとき、

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

図書館に行き様々な種類の本に出会えて、本の楽しみを覚えました。今でも小説はダメです。時間がもったいないと思う自分と字がたくさん詰まっているのを見るとクラクラしてしまうから。子どもの本は大好きで涙を流したりして。月に50冊くらい読んであげています。本人は読みません。

わが家ではテレビをあまり見ません。一週間で子どもがどうしても見たい番組がある場合は、その番組が終わると消してしまいます。ビデオも見ません。ゲームはみんなでやる、トランプ、ウノくらいしかやりません。テレビとゲーム（一人でやるもの）がなければ、子どもは自然と絵をかいたり、本を読んだりしています。小さい頃は、毎日読み聞かせをしていたので、本が好きなのは、そのお陰かもしれません。本人がすすんで読まない子なら、大人が読んであげるところから始めなくては。読書は心や脳の栄養。親が子どもにとって大切なことは何かを考える環境を作つてあげることが大事だと思います。

読書カードを作り、キャラクターなどのシールを貼り、友達同士で競うなどすると読むようになるのではないかでしょうか。または誰かが読み聞かせるなどして読書の面白さを伝える。

近所にいるお子さんの家庭では、TVもなく、TVゲームもないため、必然的に親も子も読書をしたり、運動したりという時間の使い方をしているようです。子どもの読書活動の推進の改善は、親への取り組み方のやり方しだいではないかと思う。

年令、学年別のお勧めの本のコーナーがあると、親も選びやすく、あまり本を読まない子も手に取りやすいと思います。

年齢が上がっても、読み聞かせは大事だと思う

いろいろな本の内容などを紹介してもらえば子どもも興味持てるのではないかと思う

読み聞かせの機会を増やすなど魅力ある企画を身近な場所で開いていただきたいです。（紙芝居・人形劇など）

図書館・学校でも行っているとは思いますが。家庭でも本を置くスペースを作り、2~3冊でもかまわないので表紙を見せるように立てておいたりして、子どもが「何だろう？」「見てみようかなー」など、思えるように「読書コーナ

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

一」を作つてみてはどうでしょう。家で本棚に並べてあるだけが多いのかなと思ったので。読みなさいではなく、なにげなく置いて立てかけておくのもいいのでは。

読書により、読解力・表現力・文章力が養えると思います。又、人として大切なことも、学べると思います。読書により、落ち着きやしんぼう強さ、心の豊かさを得ることにもつながると思います。ただ、宿題・習い事・遊び・基本的な生活習慣の両立をはかるのは結構厳しい面があると感じています。

学校でも家庭でももっと読書の時間を増やすといいと思います。その際よく言われていることですが、教師や親が読書を楽しんでいる姿を子どもに見せることが大切だと思います。本を読むのって楽しいと本人が気づいてくれないとなかなか定着しない習慣だと思いますが、読書したくなる様な環境づくりも大事だと思います。テレビやゲームの時間を減らすのは大変なように思いますが、まず親がたとえ30分でも「今から読書の時間だからテレビを消します」と子どもに伝えたり、食後に読書タイムを作ったりしてみるといいと思います。

活字離れが騒がれて何年も経ちますが、子どもの活字離れは意識していないと、ともすれば大人だって読んでない、本を持たないことも多くなるのではないか。今は何か知りたい、調べたいと思ったら、パソコンで情報を引き出したり、メール交換で情報を得たりと、とても簡単になりました。本を出して広げて目次をみてページをめくるなんてことはしなくともいいくらいに便利になりましたが、私はその一手間が今の子どもには必要なのではないかと思います。本でなくとも、地図や図鑑でまずは調べたいことを1つあげて早く見つける競争、同じ名前を探す、物語のようなものは役割を決めて、せりふを言う人、あらすじを言う人に分けて演劇風にしてみる本を体感してみる。本をたくさん読んだ人と名前をあげてくれるのもいいけど、そのことに魅力を感じなくなった子どもも多くなってきました。たくさん読むことも大事ですが、自分で考える力・思う心を養うことが大切なのではないでしょうか。

幼い頃の読み聞かせの時間が多く取り本への興味を持たせてあげることが大切なのではないでしょうか？どんな本を読んでいいかわからない子どもも多くいると思うので、おすすめの本とか内容を軽く説明するものなどあるとよいのではないかと思います。

私が高学年の頃、担任の先生が毎日長編の本を（10分～15分位ずつ？）読んでくださいました。その本は確かに人種差別の物語でしたが、とても心に響き、

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

感動したのを覚えております。今回のアンケートでそのときのことを思い出し、我が子にも読み聞かせしてあげなくては、と再認識いたしました。

本の楽しさを教えるために、親の読書推進はもちろんのこと、学校での本読み推進、また、朗読会などを企画してい。

私には子どもが3人いますが、上の子のときは、まだ字が読めないときからよく本を読んでいましたが2番目の子のときはなかなか本を読んであげられなかつたので、そのために本があまり好きではないのかなと思っています。今、本を読みなさいと言っても読もうとしないので、そのうち自分から本を読みだすようになるのを願っています。子どもが小さいうちからお母さんたちが読んであげれば本が好きな子になると思います。

子どもの興味にあわせた本の選定を行い、少しでも読みたいという気持ちに近づけられる様にしています。

やっぱり子どもの頃から本に親しむのは大切だと思う。実際に自分が子どもの頃、図書館に連れて行ってもらったり、本を買ってもらったりしたことをよく覚えていて、大人になってもそれらの本が読みたいと思い、購入したことがあるくらい印象に残っています。そういう姿を今度は自分の子どもに伝え、それが伝わっているなと実感しております。そんなわけで学校での図書室利用を積極的に奨め、読書の習慣を身につけさせることを願っています。

読書は本当にいいと思います。大人になってもなるべく生活の中に取り入れたいと思っています。（なかなか時間がなくてできないのですが…）図書館に行って子どもに自由に本を選ばせると、スポーツや昆虫などの図鑑ばかり選んでくるのが気になります。なので、私が、2~3冊絵本を選んで加えるようにしています。

字が読めないうちは親が読んでいたのですが、自分で読めるようになると、マンガも含めて、いろいろと自分で読むようになってきました。私が4才の妹に読んであげていると一緒に聞いていることもあるので、大きくなつても“読んであげる”ということも大切なのかな、と最近思うようになってきました。乱読でもいいので、本からしか得られないものをどんどん身に付けていってほしいと願っています。

学校の図書室にはマンガ本はなるべく置かず、また、クラスごとに授業の一

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

環として定期的に図書室や図書館へ行く時間を設けてほしい。学級文庫が今の学校はないようですが、本に親しむ意味でぜひ設けてほしい。子どもの本の値段を安くしてほしい。伝記や名作など、タイトルを指定して読むような宿題を出してほしい。読書感想文のコンテストを長期休暇のときだけでなく、もっとたくさんやってほしい。たとえば、学校単位で、市単位で、図書館独自になど、いろんな賞を作つて、まずは子どもがその賞めあてに本を読むというきっかけ作りをしてほしい。課題図書を設けなくても、たとえば「伝記の読書感想文コンテスト」など、読書ジャンルを絞つて、自分の得意分野だけ参加できるようにしてもいいかもしれません。

私自身が読書好きですので、子どもが、1歳のときから、長崎県の「童話館」から本を取り寄せ、毎月送付してもらい、読み聞かせていましたが、子どもは、いっこうに本に興味を示しませんでした。その頃より、他の習い事もしており、忙しすぎたのかもしれません。教科でも算数が好きで、国語は興味がなかったのですが、最近、歴史マンガにおもしろさを感じて、よく、図書室で借りてくるようになりました。図鑑、写真集、辞典など、本とは言えないかも知れませんが、手に取れる位置に置きましたところ、一週間に一度くらいは開けるようになりました。興味のある分野を見つけると自然に知りたいという欲求が出て来て本好きになるのではと思います。失敗したこととして、2年生ではまだ自分でできる携帯型のゲーム機は、買い与える必要はなかったと反省しています。買っていなければ、読書好きになってくれたのではと思います。

小さな子ども達はごほうびが大好きです。きっかけがごほうびというのも何ですが。図書館主催のチビッココンクール（読書感想文コンクール、本の内容の絵コンクール、何冊借りて読んだかコンクールetc.）などの催しを企画して各賞で表彰状や広報に載るなどの「ごほうび」がもらえるのなら、子ども達は目指して参加するのではと思います。文部省などで読書感想文コンクールなどはもちろんありますが、あくまで中央図書館オリジナルの企画であることがおもしろいと思います。教育委員会や文部省の二番煎じではなく、ポイントは「中央図書館独自の目線」ということ、というのはいかがでしょう。

本人にどのような本を読みたいか意見を聞いて、それに合う（または似ている）本を大人がすすめて、興味をもたせてあげる。

本を読むのが大切だからと言って子どもに本を読ませても子どもは本を読むことに興味を持たないと思います。いかに子どもが本と触れ合うかが大事で、そのためには学校で読書の時間を設けたり、読み聞かせをしたりしてその時間

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者**

だけでも本と触れ合う時間を作ったり、子どもが興味を持つ本に出会えるような環境なりきっかけがあれば良いと思います。活字に慣れれば本を読むことに抵抗がなくなります。課題図書もそうですが、大人は「この年齢にはこんな本で・・・」みたいなのであるので。子どもがよみたい本を読む→本が好きになる→活字になれる→読む本の種類も増えると思います。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

2. 策定に否定的な意見

現代の子どもは映像をみて、読書のかわりとしているので、本 자체にこだわる必要はないと思う。ビデオを活用した授業の方が子どもは興味を持つと思います。

私自身は子どもの頃読書を強制されたことがなく、あまり好きでなかったが、大人になって必要になれば自然と読むようになると思います。読書は子どもにとって大切だとは思いますが、強制するのではなく子ども自身に任せたほうが良いと思います。今の子どもには、読書よりもっと大切なことがあるのかなとも思います。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

3. 図書館への意見

もう少し今どきの本を置いてください。

・何でも良いので、本にふれる機会を増やすことである。・人気のある本が市の図書館で借りられないで増やしてほしい。

強制や競争でなく本人の興味をひきだし読みたい本が多くあるような充実した図書館や図書室があればよいと思います。読んだ本の内容について皆で語れる場もあればおもしろいと思う。

私自身、読書は大変好きですし、子どもにもそうなってほしいと思います。子どもがときどき「今日は図書室に行ったよ」と嬉しそうに話すので、先生からも一言「借りた本を読んでこようね」と声かけをしていただけたら嬉しいです。学年別におすすめの本を紹介してもらえると興味がわくかもしれません。でも何より親の姿勢でしょうね。親が子を図書館に連れて行ったり、「この本おもしろそうだよ」とすすめたり、自分が読書している姿を見せるのが一番だと思います。守谷の図書館は蔵書も多く素晴らしいのに、もっと多くの人が活用すればいいですね。引っ越す前の図書館はもっと混んでいました。もったいないですね。

小学校の振替休日は月曜日です。図書館をゆっくり利用するのにいい機会と思うのですが… 休館の曜日を変更しています。家から一番近いのは中央図書館（車で10分弱）ですが、もう少し近くにもあると子どもだけでも行けていいと思います。

広報だけではなく、学校などを通じた配布物などで、図書館の蔵書や、新規購入した本の紹介などをしたら、子ども自身が図書館への興味を持てると思うのですが。

推薦図書ではなく、各学年で、男の子、女の子それぞれ人気のある図書を紹介してほしい、（時間を忘れてあっという間に読んでしまうような本）

近くに図書館があれば借りたいと思う。

好きな本ランキング（学年別）などをやってほしい

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

図書館の開館時間が10時からなのはかなり遅いと思う。10時になるとお店が開きいろいろな用事があり友達も活動はじめて遊びにいってしまう。図書館は街全体が動き出す前の「まだどこもやってないからな」という時間に開いていてくれて「じゃあ図書館にでも行くか」となる場所だと思う。朝が遅いのでは話にならない。図書館と本屋さん子どもにどっちに行きたいかをたずねれば、マンガもあり、本を買ってもらえる本屋さんを選ぶに決まっている。まだ本屋さんが開いていない時間だからこそ図書館に誘い出せるのであって、夏休みは8時ころから開館させるべきだと思う。また、図書館にクールビズは通用しない。涼みに行ける場所である必要がある。暑い図書館にわざわざ行く子ども達はいないと思う。エアコンがきいた家で勉強したり本を読んだりした方がずっといいからである。

おすすめの本を紹介するお知らせのようなものがあればいいと思います。たくさんの書籍の中からその年齢にあう物を選ぶのはなかなか難しいです。自分の好きなものを読ませていますが新しいお話もずいぶん増えてきているようなので司書の方の選んだ本などが知りたいです。

今の時代（特に最近は）子どもだけで図書館に行かせられない状況です。私が子どもの頃（図書館が遠かったせいもあるかもしれません、）移動図書館がありました。毎週決まった曜日時間、場所に移動図書館（本を積んだトラック）がきていました。その日をとても楽しみにしていた記憶があります。友達同士でよく借りに行きました。図書館から遠い地域にはこういったものがあるとうれしいです。もっと子どもの読書量も増えると思います。

学校の生活科の時間を使って図書館見学をして図書館に親しみをもつもらう。図書カードを1年生になったときなどに作ってあげる。子どもが喜ぶような読書カードを作り、何を読んだか、何冊読んだかわかるようにする。夏休みには本がいっぱい読めるので、スタンプカードを配り借りたらシールやハンコを押してあげる。同じように、推薦図書を読んだらハンコを押す。

学校での図書の貸出のしくみがわからないので、親にもわかる様にしてほしい。市の図書館でもおすすめの本など少しあらすじがわかる様なちらしや実物を用意するなどして、子どもが本を取りやすくしてはどうでしょうか？読書感想文を書かせて、添削して頂ける企画などあると楽しくしかも真剣に本を読むかもしれません。（親も参考になります）

これからボランティアの方などに読み聞かせの機会を与えて頂きたいと思

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者**

います。また朝読書なども、頭に入り大切と考えます（5分でも10分でも）。

守谷市では、図書館のソフト、ハード面ともに大変充実していますし、大変便利に利用させて頂いております。

図書館の閉館時間をせめて、午後7時にしてもらえると、ありがとうございます。

うちの子は小さいときから本が大好きでした。保育所・園で、読み聞かせをたくさんしていただいたおかげだと思っています。土曜日の中央図書館での読み聞かせはとてもすばらしいことだと思うのですが、平日なども各公民館などでも行っていただければよりいっそう読書に興味を持つのではと考えます。（子どもに読書をさせるには、親自身が本を読んでいる姿をみせるのが一番だと思います。）

子どもが自分で本を選ぶとき、図書館の壁に貼ってある、よい本のポスターを見て、自分の学年向けを参考にして、この本おもしろそう、とか、これ学校で人気あるから読んでみようかなあ。と本を探しに行くが、ひんぱんに、その本が見つからなかったり、なかったりする。親からみても良い本のポスターに載っている本は1回は読んでもらいたいと思う物ばかりなので、もっと苦労しないで子どもに見つけられるようにしてほしいなあと思います。あと、字が苦手な子のために、さし絵の多い、学習になる本を紹介してほしいです。

図書館でスタンプカードなどをつくり、1冊借りたらスタンプをおしてもらう。カードがいっぱいになったらカードやシールなどをプレゼントしてあげるなどしてみては？

図書館で本を借りるときにスタンプカードを発行する。子どもはスタンプが好きなので喜んで本を借りるようになるのでは？　スタンプがいっぱいになったら鉛筆1本とかノート1冊、図書カードなどの景品がついたりするといいかなと思う。ただ、借りるだけで返却があるかもしれないで、ちょっとした感想カードのような物を返却時に出すなどするとよいと思う。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

## 4. 学校などの施設への意見

興味のあること、内容であれば、子どもも私も積極的に本を利用します。まず興味を引き出してそこから本にはその興味の内容をもっと深く知る技を子ども達に教えてあげればもっと本を利用し読むようになるのでは。

子ども達は、本は好きでも自分で読むのは面倒になってしまふんだと思うんです。読み聞かせなら興味が持てるんじやないかと思います。いろいろな本を読み聞かせてあげれば、本の楽しさがわかるのではと思います。私も今まで本なんて読んであげるなんて考えもしなかったのですが、幼稚園（5才）の子に読んで読んでと言われ、しかたなくだったのですが、何度も何度も読んでいるうちに本が好きなってしまったんです。不思議です。今では中古で本を買って娘と一緒に楽しんでいます。小学生くらいなら聞かせる読み聞かせの時間があるといいのではと思います。

問11にも書きましたが、図書館でのお話しは子どもにとってとてもよい機会だと思います。あのおはなし会が、各小学校単位で増えるとよいのではないかでしょうか。また、学校の図書室に生徒同士で投票したランキングをはったりするのはいかがでしょうか。

週1回くらい、学校の終わりの時間帯（20～30分）くらいを図書館の時間にする。借りてもいいしその場で読んでもいいし。

図書館よりも、学校の図書室を充実してい。各学校に司書教諭を配置してい。

私は、親に読んでもらったことはありませんが、学校で色々な本に出会い好きになりました。特に高校生のとき、通学途中で読む小説が大好きでしたが、本を読むことで知識だけでなく想像力や物事のとらえ方、たくさん学べました。なかなか仕事をもつ親が子どもに読み聞かせることは難しいのでせめて学校で本に出会うきっかけを作って頂けたらと思います。

子どもを本が好きな子にするには、読み聞かせがいいと聞きました。柏にいた頃、市の保育園で、いっぱい読み聞かせをしてくださったおかげで、うちの子どもはみな本を読むのが好きになりました。読み聞かせは小さい子にだけするものと思っていたら、小学生になっても読んであげて！と言われたことがあります。高学年になっても、本が好きでない子でも読み聞かせを学校ですると、目がキラッと輝き、集中して聞いているそうです。子どもが大きくなってくる

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者**

と、なかなか読み聞かせをしてあげられる時間もとれないのですが、意識して読んであげたいと思っています。（学校でも朝の時間などにもっと読み聞かせをしてほしいです）我が家ではテレビを観る時間を制限しているので、あいた時間にはよく本を読んでいます。ゲームも買い与えていないので、余計かもしれません。守谷市の図書館のいいところは、貸出数を制限していない点です。子どもは図書館に行くと3人それぞれが読みたい本をたくさん借りてきて、家で並んで座り読み切るまでシーンと集中して読んでいます。普段騒々しいので、私もほっとできるひとときです。それぞれが借りてきた本を年令を越え交換して読んでいる姿も微笑ましいです。

学校でもときどき読書の時間を作ってもらっているようで、その時間を楽しんでいるようです。ただ、小学校の図書室の蔵書が少ないように思います。もっともっとたくさんの本を置いていと願います。

アニメ的な本があれば楽しく読めると思います。

本を読むのが好きな子もいれば、本が好きでも友達と遊ぶことがもっと好きな子もいます。うちの子の場合、冬場はあまり遅くまで友だちと遊べなかつたため、体力にも余裕があり、夜寝る前に本を必ず読んであげましたが、今は疲れるまで友達と遊んでしまうため、夜はお風呂に入るとすぐ寝てしまいます。時間にゆとりのあるとき、なるべく本にふれる機会を作つてあげれば十分だと思います。学校などで取り組んで頂けるなら、1時間目が始まる前に5～10分程度で読める短い本を読み聞かせてはと思います。また、本の冒頭部分や、あらすじを読んであげて、おもしろいと思った子は図書館で借りて自分で読んでみて、などもいいのではないでしょうか。

どんな本を読もうかという目安になるような学年別のおススメ本リストのようなものがあると、本を選びやすいと思います。読書ノートをつけるとよいと思います。

子どもが本を読むことはとても重要なことだと思います。それにはまず親が読書をし、読書をすることが楽しいことだという概念を持たせることも大切だと思います。小学校2年生くらいではまだ自分でどのどん読書をするというのは能力的にもむずかしい面もありますから、親が読んであげることも必要だと思います。また、おもしろい本が身近にたくさんあること、友達とおもしろい本の情報交換をし合えるということも推進するために必要なことです。朝の会や帰りの会でおすすめの本を紹介しあったり、紹介コーナーを作ったりするこ

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

ともいいと思います。読み聞かせボランティアの方に来ていただくのも子ども達にとってはとてもうれしいことだと思います。毎日20分くらい読書の時間があつたら（1つも音をたてずにみんなが集中して読書に取り組めたら）すごい成果が表れると思います。

幼稚園では毎週本を図書室から借りてきます。小学校（低学年は特に）でも毎週借りる時間があればと思っています。借りたいと思ってはいても目先のこと（休み時間は外で遊びたいとか）で、図書室に行くことはないようです。

学校の宿題で毎日音読みがありますが、どうなのでしょうか？子どもにもありますが、宿題だからと毎日イヤイヤ読んでいることがあります。それ以外は本を読まない子もいて、聞いてみると「音読みしたらいい」と言います。自分から読むというより読まされているという感じがすごくします。ただ文字を目でおっているという感じです。本人の意志が大事だと思うのですが、無理に読ませても、本が嫌いになるような感じがします。

本の面白さをまだ知らないので、学校などで時間を増やすか宿題やらで半強制で読むようにして面白さを知ってほしい。家に帰ってきても読む時間があまりないようにも思えます。2年生だと遊ぶことも大切だと私は思います。良い方法を知りたいです。

優良図書を紹介する機会や資料を作る。できれば実物を見せながら少し読んでみると自分で興味持てる本を見つけることができるのではないかと思う。何を（どんな本を）読んでいいか分からぬ子どもに自分の興味のある本を探す（選ぶ）力をつけさせる。いろいろな分野の本があることを広く紹介する。

学校などの読書時間を増やし、グループワークなどで、読んだ内容で感じたこと・思ったことをディスカッションするなどの機会があると良いと思います。

学校で読書の時間を増やすとともに、読書の楽しさ大切さを子どもに伝えてほしい。

今の子ども達は習い事やテレビ、ゲームなどやることがいっぱいでゆっくり読書を楽しむ時間がない。学校の授業を通して読書に興味がもてるよう指導していく。例えば、国語の授業で、いろんな本を取りあげる。夏休みや冬休みなどの前に推薦図書を学校で販売するなど（幼稚園のときにそうだったので）

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

あとはやはり親が、よく本や新聞を読んでいると、自然に子どもも読書に親しむようになる。

学校の休み時間に読書習慣を作ってほしいと思います。

宿題の音読の大切さもわかるのですが、たまには、読書（黙読）があってもよいと思います。たくさん読むと表彰されたりしますが、同じ本を（気に入った本）何度も読みたいことだってあるのに、おかしいと思います。何のために本を読むのか？子どもの将来を考え、長い目で！「読書って楽しい」って思えるきっかけや、楽しい本の紹介が何らかの形であるといいと思います。

子どもにわかりやすいように、いくつかの本の内容を簡単にまとめたものを、ときどき子どもに配ったりすると、子どもが興味をもって、借りようとするのではないかと思います。

子どもに人気の本は、いつも置いてある数が少ない。リクエストしてから購入してもらって借りるまで待つののが面倒くさい。ある程度、子どもに読みたい本のアンケートでもとって、その本を図書室などに置いてほしい。

本を読むことは、とても大切なことと考えています。各学年ごとにどのような本を読めばいいのかは、国語の教科書などにのっていますが、実際図書室にあるのか、子どもが直接、間接にても合った本を選んで読めているかどうかがわかりません。それから、推薦図書などがありましたら、随時お知らせいただけるといいと思います。子どもにどうして本を読むことはいいのか、大切なのか折に触れて教えていただけたらと思います。

大人による語り聞かせ（低学年）、伝記・歴史本（高学年）、冒険物（高学年）で学級文庫をつくる。

学校での読み聞かせなどの機会が増えればと思います。

学校での読書の時間を増やしてほしい。

「生活」などの授業などで「読書タイム」などがあってもいいと思います。

校外学習で市の図書館へ行くのはどうでしょうか。子ども達の図書館利用が増えると思いますよ。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

5. その他の意見

本の大切さはわかっていても、なかなか親が子どもへ読んであげることができないです。ムリヤリ読ませることはしても、本が嫌いになってしまって、本人が楽しい、読みたいと思うものを、どんな本でも読むことから始めてくれたらいいと思ってます。それから徐々に・・・ですかね。

私自身、子どもの頃から本を読むことが好きではないため、本を読むという習慣がありませんでした。しかし本を読むこと、本を読んであげることは大切であると思っています。どうすれば子どもが本を好きになるかよくわかりません。本に興味を持つ方法があれば伝えてもらいたいと思います。

学校の図書室や市の図書館に新作の本が多くあると読みたいときに読むことができる所以よいのではないかと思います。

新刊本を揃えてほしいです。

幼い頃は読み聞かせしましたが、最近は宿題その他わからない所を音読してあげる程度です。親子で本を読む機会を作ろうと思います。

子ども達が自然に本と接する機会をたくさん作るよう親が努力していきたいと思います。

何か子どもの好きな物と連動させて本を読ませる努力をしています。マンガでもよいので読む楽しさを知ってもらう。

自分の好きな（専門書を中心に）読むようにするべきだと思います。興味のない本を、読んでも頭にはいらないと思います。

子どもが本を好きになってくれたらうれしいなと思い赤ちゃんの頃から読み聞かせは欠かさずやってきたつもりです。本を無理に読ませるのではなく、自分で本の楽しさに気付いていと思ったからです。小学生の子どもと幼稚園の子2人居りますが同じ様に本を読んであげてきたつもりですが、なぜか上の子はどちらかというと好きではなく下の子は一日中でも本を読んでいという子に育ちました。不思議です。最近は勉強に役立つからということで読書をすすめる動きがあるようですが、私はどちらかというとその重要性もあるかと思いますが、とにかく楽しいから読書をしていと子どもには伝えたいです。自分が子どもの頃から読み継がれている本も多数ありますが、やはり最近の流行とい

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

うものもあるようです。子どもを通して「こんな本もあるんだ！！」と知らされたり。何かにこだわらず色々なものを読んでいってくれたらいいなというのが希望ですが。

それぞれの子ども達が興味をもって楽しめる本に出会えたら、読書が好きになると思います。（当たり前ですが）そのためには、強制されずに、家庭でも、学校でもたくさんの本から、興味のあるものを選べるような環境が与えられたらと思います。

子どもの活字離れは本にふれる機会が減っているからだと思われます。我が家でも読み聞かせはあまりしていないので反省しています。もっと小さい頃のほうが読み聞かせをしていたように思います。忙しいからといわずに時間をみつけてもっと読み聞かせをしたいと思います。

本を読むことの大切さは、自分で活字を追うことだと思う。小学生になれば少しづつ漢字を習い、また習っていない漢字もルビがあれば読めるし、自然と覚える。従って、もう読み聞かせは必要ないと思う。

最近はマンガばかり読むようになってしまったので、図書館などでどんどん本を借りて本の楽しさを教えていきたいと思います。

読み聞かせは大切だと思いながらも、日々時間に追われ、読んであげる余裕がない。

本がすぐ手に取れる環境づくり。学校では、クラス・学年単位で文庫をつくる。本の紹介（プリント配布）。家庭では、親子で読書できるゆとりを持つ、宿題の一部にする。公共からは、教科書のように1年に1人1冊、本を支給する。

大人も常に今自分の子どもがどんなことに興味があるのかから考え、大人が本を読んであげても良いと思います。それから本人が興味を持つようになり、自分で読みたい本を選べるようになるのでは。また、幼児期は読み聞かせが大切かと思います。よく感情をこめて読んでいいけないと言いますが、我が家は登場人物になりきって読んであげていました。その結果かどうか、音読が大好きです。

この年の子どもはマンガなどの方が好きらしく、歴史などのことでもマンガのものを買って読んでいました。それでもかなり頭に入っていたようでした。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

マンガのようなものはあまり良くないのでしょうか？

帰宅後はできれば外で遊んでいと思う。「本を読む時間」というのが確保できればよいが子どもなりに忙しくて難しい。読み聞かせはそれなりにやってきたが自分から進んで読むようになるとは限らないと思う。

学校から帰ってくると友達と遊ぶ時間と勉強の時間で毎日忙しいので休みの日に家族で図書館に行くようにし、本に親しみを持つようにしていきたいと思います。ゆとりのある生活にしていこうと思います。

現代の情報化社会の中で本以外に知識や情報を収集する手段は多様であると思います。識字力・読解力を養う教材も多様であると思う。

移動図書館を設け(ワゴンなど) 図書館が自宅から遠くても子どもが本を借りやすくなる。(月に何度か守谷市を巡回する)。絵本作家(もしくは小説家)を守谷市に招き講演会を開く。学校での読み聞かせ(父兄や一般ボランティアなど)の時間を週1回のペースで設ける。図書館でのおはなし会の回数を増やす(平日など)。毎月子どもに読書感想文を書かせて、何人か選んで広報に載せる。図書館へ学校で見学に行き、図書の仕組み仕事の内容を学ぶ。以上何点か挙げてみましたが、いくつかは実際以前住んでいた市や学校で行っていたことなので、参考になればと思います。

本を読むことは大切だと思います。私自身好きなのでよく読みました。小説からマンガまで！！今は忙しくて、なかなか自分で読む機会が減っていると思います。子どもは、たまに本を読む、というか絵を見ている感じです。本を読めば自然に字も覚えるし、大切だとは思いますがなかなか読み聞かせができるいないのも親の都合なんでしょうか？

何かのきっかけで本が好きになると思いますので、無理に読ませるよりは、身近に本があることが大切。好みの本を読まなくてもいいから探すおもしろさを知るなど。

書店や図書館でよく思うのですが、子どもにどんな本を選んであげたらよいのかわからないことがあります。そんなときに、読書アドバイザーのようなアドバイスをくださる方がいてくれると良いのではと考えたことがありました。

小学生や中学生でも参加できるような、人形劇やパネルシアター、読み聞か

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校2年生の保護者

せイベントはないでしょうか。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

### 1. 策定に肯定的な意見

学校の授業に取り入れてほしい。

テレビのアニメなどを活字にして本にすればもう少し本の楽しさがわかるのではないかと思います。大人でも映画やドラマの原作本をよく読むと思うので。

今の子どもが読むのは、学年が上がってもマンガや雑誌が圧倒的に多いように見受けます。科学ものの伝記などもマンガ仕立ての本が大部分のようです。取り掛かりとしてはそれも良いでしょうが、もっと本格的な読み物もおもしろい、感動する本がたくさんあると、先生、家庭など、周囲の大人や上級生が教えてあげられる機会があればいいと思います。

一冊の良い本（好きな本）との出会いによって、本好きになると思います。実際、私がそうでしたから。きっかけは赤川次郎さんの小説。それから今でも必ず寝る前に本を読む習慣がついてしまいました。今思えば、小学生のときにもっと本を読んでいたらと思うこともしばしば。どんな本でも良いと思います。ダジャレやギャグ、恋バナ推理もの。子どもが好きなブックランキングなんてあってもいいかなと思います。

読書の良い点は字を覚えるということです。テレビやゲームよりずっと良いことだと思います。テレビやゲームは、ストレスがたまってしまうと聞きました。マンガの本でもいいのです。新聞などでもよいのです。読むことよって、社会に出たときに役に立つとつくづく思っています。本はたくさん読んでほしいと思います。

好きなときに好きなだけ、読んでいければいいと思う。

子どもはみな本は好きだと思います。私自身、小学校で本の読み聞かせをやっていますが、どの子も目を輝かせて聞いてくれています。なかなか自分から読むことをしないことが多いようなので、まずは読み聞かせから本を読むきっかけ作りをしていってはどうでしょうか？お勧めしたい本なども学校から図書だよりのようなものを発行してもらうとよいかと思います。図書館でもチラシでよいので作ってもらって学校に配布していただくとよいかと思います。

最近は伝記、サスペンスが好きでよく読んでいます。友達の影響もあると思

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

います。いろいろな本を読んでほしいと思います。

どんな種類の本でも「読む」と言うことを基本にして、くせをつけてはいかがでしようか？私の2番目の子どもは自分から本を読もうという子ではなかつたので、子どもの好きなマンガ雑誌を与えたところ、はじめはわからなくても、何度も何度も読み返していました。次は少しずつ絵のない本に手が出るようにしていきたいと思っています。子どもにもそれぞれタイミングと言うものがあります。それを親が感じてきっかけをつくってあげてはいかがでしようか？

友達が柏の学校（自分の子が通う学校）で読み聞かせのボランティアをしていますが、意外にも5・6年生の反応がとてもいいそうです。目の輝き、集中していることが伝わってくるそうです。本は低学年向きの絵本でも、集中して聞いていると聞き、私も驚かされました。大きくなっても読み聞かせてあげることで、本の世界に触れ、本の魅力をあらためて知ることができるのでないかと思います。また、我が家ではゲームを買い与えず（ときどきインターネットのゲームを30分やらせますが）テレビも見たい番組を1日2つ（1時間）と決めて見せています。見ない曜日もあります。子ども（5年・2年・年長）はみんな本が好きで、見ていると、テレビを見ない時間があるから読んでいるようにも思います。

設定されて始めた読書でも、それが本を好きになるきっかけとなることもあるでしょうから良いと思います。

テレビゲームやテレビなど、目の前に刺激的な物がたくさんあり、本と触れ合う時間が減っていると思います。まず子どもが興味のある本に出会うことだと思います。本を読みましょうと強制してもだめで、親はその環境を作つてあげるといいと思います。

本は静かに読むという思いこみをなくし、声を出し、体を使って表現したり感じたり…「本を読むこと＝むずかしい、めんどう」というのを変えるべき。読み聞かせのときに、読む大人ももっと自由に楽しくしたら。我が家でパパの読み聞かせで人気No.1はエルマーとりゅうです。ライオン役のパパは私が見ていってもおもしろいです。

本を読んで楽しいと思えるようになるまでには、マンガを読むのやテレビを見るのと違って、ある程度の努力を必要とします。テレビゲームなど、受身のままでも楽しめる娯楽がたくさんある今時の子どもにとって、これはかなり高いハードルです。子どもが興味のもてる本は一人ひとり、また年令や経験によ

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

って違いますが、それを見つける手助けをしてあげることができれば、読書の最初のハードルを下げるができるだろうと思います。

読み聞かせも本を読むことと同じくらい重要だと思います。実際のアンケートで答えると、本に関わる時間が少ないと実感します。これから子どもとともに本の大切さ、重要さを伝えていきたいと思いました。

本は暇がないと、なかなか読めないですよね。子どもも今は習い事などで忙しくなかなか読む機会が少ないと思います。日々の生活で15分でもテレビを消して、本を読む時間運動などをしてみてはいかがでしょう。学校でその時間を持つのも良いと思いますが、やっぱり家庭でするのが一番ですよね。1日1回読書ができる、ゆとりの時間を持ちたいですね。

学校での朝の読書時間は大切だと思う。高野小学校の高野文庫の存在は大切だと思う。図書室があっても、普段は行かないのに高野文庫ではほとんどの子が借りていく。図書室より本の数が少ないと思うが、高野文庫を楽しみにしている子どもが多い。土日が休みになったのだから、親が図書館に子どもをつれて行き、各々が好きな本を借りて、親が読書をしている姿を見せるのは、とても良いことだと思う。自分が子どもの頃に読んだ好きな本を子どもにすすめてその本の内容について話し合うのもステキなことだと思う。まずは親が子どもに読書の楽しさを教えてあげてほしいです。

ジャンルを特定せず、いろいろな本にふれる機会が増えれば本を読む楽しさがわかってくると思うので、学校などの図書室にもたくさんの本を置いてほしい。活字を読む習慣が身につけばわざわざ「本を読む時間」を設けなくても本を読む子どもは増えると思う。（読書が好きな人はどんなに忙しくても本を読む時間を見つけて読んでいることからもわかる）

子どもは本の楽しさがわかれば進んで読むと思います。読んだらおもしろいと思えば本が好きになりたくさん読みたいと思うと思います。最初に読む本の選び方が大切だと思います。興味を持つ本との出会いが大切です。そうすればもっとたくさん、いろいろな本を読んでみたいと思うはずです。

読書は心の栄養！！勇気と希望の湧いてくる本を、どんどん読ませたいと思っています。

ただ活字を読むだけでなく簡単でもいいから感想を書くようにすると、その本の印象をよく覚えていられる。または、本を読んだ人がその本に採点してみ

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

る。

朝の読書、ありがとうございます。読書は習慣が一番大事だと思います

学校の行事やこういったアンケートなどで本の面白さ、子どもの興味をそそるような講演会や見出しなどを使用（利用）するとよいのではと思います。今の子どもは集まればゲームばかりしていてほかの話題はほとんどしないようです。いくら本を読むことの大切さを説いても聞く耳を持とうとしません。面白い本があったらカラーコピーなどして（表紙を）ご紹介して頂けないでしょうか。家庭でも読ませることへの努力としてまいりたいと思います。

長女（中2）と長男（小5）共に幼いころから毎日のように読み聞かせていましたが、長女は何度も繰り返し読むのをせがみましたが、長男は一回で飽きてしまうことがほとんどでした。本人がもともと持つ何かがあるのかを感じました。現在長女は複数の本を同時進行で寸暇を惜しんで読んでいます。朝の読書タイムなどは、興味、関心を持った本に出会える良いチャンスだと思います。

本を読むことはとても大切なことだと思います。私（母）自身も本は大好きですが、子どもにも好きになってもらいたいと考えます。本を読むことで、今まで知らなかつた知識とかも入るでしょうし、読解力とかも身につくと思います。家では毎日本の読み聞かせをしています。（小さい子がいるので）でもさすがに5年生ともなると、自分の読みたい本もあるでしょうから、自分の好きな本を選んで読ませています。ある程度親からも「こんな本あるよ」とか「これも面白そうだよ」とか言って、親が選んだ本を読ませていることもあります。図書館で伝記・学習ものの「エジソン」とか「キューリー夫人」などよく借りてきて読んでいます。学校でも読書の時間があるようですが、家でもそういう時間を作つて読める環境を親が作らないといけないのかなという気がします。

学校での朝の読書の時間のおかげで本を欲しがります。それがスタートとなり興味を持ってくれ、ありがとうございます。

私自身は子どもの頃読書は好きではありませんでした。「本を読みなさい」と大人から言われるのが嫌だったからです。決して「本を読め」と言わずに、楽しく本と接する時間を設け、体験的に「本は楽しい、おもしろい」と印象づけるのが大切だと思います。そのためには、様々な本を赤ん坊のうちからいっしょに読む（見る）ことをし、読書の時間を共有する（誰とでも良いが、親が一番ベスト）ことが必要だと思います。赤ちゃんがいる若い親への指導がまずは必

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

要だと思います。

私が小学校の頃、地区内で学校の図書館の本を袋に入れて5,6冊持ち帰り、家の人々が本を読めるようなシステムがあったように覚えています。母親文庫というものだと思いますが、親が読んで子どもに話したり読み聞かせができるのではないかと思いまして一筆書きました。

学校で本を読む時間があることはとてもありがたいです。家ではなかなか本を読む時間がなく（平日、土日共にスポーツ少年団の活動があるため）、時間があれば、本よりもゲームになってしまっているため、学校で読んで読み終わると、息子が次は、「こういう本が読みたい」と言ってくるようになりました。少しづつでも本を読むことを習慣づけができればいいなと思います。

幼児の頃から寝床について読み聞かせて眠らせていました。近頃は外で遊び疲れているのでしょうか。床に入ると5分程で眠っていることが多いです。ゲームやテレビの時間、またサッカーに参加している時間が多く小さい頃のようになどで読む本も限られてきています。男の子なので図鑑的なものが好きなようです。ハリー・ポッターも3年生の頃から少しづつ遊んで読んでいますので、本屋さんへ行くのも好きですし、買って読みたいと言えば買います。本を読むことにより考える力（理解力）が付けばいいと願っております。

家族で読書をする環境を作る（特に親が読書する姿を見せたり、自分が子どもの頃読んでいた本や面白かった本を子どもに紹介したりすると良いと思う）今の子どもは昔の子どもと違い、忙しいように思う。その中で、ゆっくり好きな本を読むことは気持ちをリラックスさせストレス解消にもなると思うので、テレビの時間を減らしたり、休日は家のんびり過ごすようにしている。学校でも読書の時間を作ってくださっているようで、貴重な時間を感謝している。

自分の子どもには特別「本を読みなさい」と言った覚えはないが、マンガを含めよく本を読みます。活字が好きなんだと思います。私（母）も主人もよく本を読むので、その影響もあるのかもしれません。その子、その子で興味のあるものに関しては、きっと知識欲などがきっかけで本を読むようになったりすると思います。中には想像力をかき立てられる物語などに触れたのがきっかけになる子もいるかもしれません。図書館などの読み聞かせも大事な催しだと思います。

読書感想文コンクールで、今までに指定図書になったものを（山ほどありま

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

すが）学年毎にコーナーを設けてはどうでしょうか。

読書以外に楽しいことがたくさんあって（テレビ、ゲームなど）なかなか本を自主的に読まず困っていました。塾に通い出したところ，“1か月に何か1冊は本を決めて読みましょう”という時間があり、宿題としても“何ページまで読んできましょう”というのが出て、何とか読むようになってきました。強制的に読む習慣をつけていくのも一方法と思うので、学校でも読む時間を増やしてもいいのではと思います。

本を読む習慣は、幼児期の環境で大きく変わるとと思われます。私は問11で答えましたが、親が読めと言ったところで読むとは思えません。家族の団らんの中で、家族でみんなの読む時間をとったりして、習慣づけてあげることが大切かと思っています。

学校全体（皆一緒）で朝の読書タイムは良いと思います。また、友達から先生（親）を含め、読んでおもしろかった、感動した本の紹介などあれば、子どもの興味が向くように思います。うちの子は自分から進んで読む子でないので、皆一緒や夏休み10冊とか少し強制的のほうがとり組めるようです。三行感想、一行感想などあれば、その本を最後まで読んだと分かり、感想・コメントをつける方法も内容理解、文章の練習にもなり良いと思います。

子どもはお話が大好きです。本が嫌いな子はいないと思います。私はボランティアで松ヶ丘小学校の読み聞かせをしていますが、いつも子どもの真剣な眼差し、食い入るように聞き入る表情に驚かされ、また鼓舞されています。本が身近にあり、身近に感じさえすればどんな子も本好きになると思います。

読書は子どもの感性や知識・想像力を育てる上で、とても大切な習慣だと思います。でも今の子どもはパソコンやゲーム、まんがと他に刺激的で楽しいことが多いので、現実として本を読む時間がないのではと思います。何か調べるときでも、今はパソコンのネット検索ですぐに調べられるので、図書館に行き、本で調べるといったことも少なくなってきたているように思います。我が家ではルールを守ってゲームを使えなかつたので、とうとうゲームを取り上げてしましました。子どもは退屈な時間ができるようになったので、以前より本を読む時間が増えました。親からすると、限りなくマンガに近い娯楽性の高い本ばかり借りてきて読んでいますが、もう少し成長したら、もっと素晴らしい本も読んで、本を読んで感動したといったような経験をしてくれればいいなあと思っています。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

同じようにして育ても、兄弟で本に対する姿勢は違うものですね。ただ、やはり周囲の環境の影響は大きいと思います。何を読むかは本人に任せれば良いと思いますが、親もアドバイスを求められたときに「こんな本がいいよ」と言えるような状態でありたいなと思っています。

絵本の読み聞かせの推進。

共通の話題づくりとしてときどき子どもと同じ本を読んでいます。交代で音読をし、声音をかえ、登場人物になりきったり、楽しんでいます。この頃では日常生活においておもいっきり笑ったり、泣いたりということがないので、読書をすることによっていつしょに感情をあらわし、発散しています。

身近なすぐ手の届くところに本をおく。はじめはどんな本でも良いから子どもの好きなことが書いてあるものを読んでみる。無理に読ませない。今でもときどき読んであげています。

音読に力を入れてはどうかと思います。

私自身も小学校までは、ほとんど本を読むことはなかったです。中学校に入りましたまま読み始めた本が楽しく面白く、そこから読書、本というものを好きになりました。やはり自分がどんな本とで出逢えるかで、読書の楽しさは人それぞれ変わっていると思いますので、問11はあえて、③の答えにさせていただきました。ただ、様々な本と出逢い、自分の興味をそそる本と出逢う方法は今の時代の子どもは難しいのかなと感じます。

女の子は物語をよく読みますが、他に伝記や小学生での理解できる文学書などにも興味をもってほしいと考えています。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校 5 年生の保護者

## 2. 策定に否定的な意見

授業日数が少ない中では何を訴えても無理だと思う。何でも余裕があればゆっくり読書だって自然と今よりするものではないでしょうか。家では習い事におわれ、学校ではつめこんだ勉強、まず、無駄。かえなきや今の子は。見ても、現代の子は余裕が見られない。

問の 11 で 4（その他）に丸をつけたのは、本を読むことが苦手な子どもに読書を勧めるのは少々、難しいのではと思うから。学校などで読書の時間をもっと増やしたとしても、「その時間は本を読まなくてはいけないから、仕方なく読んでいる」というようなところが少なからずあると思う。読書が大切なことは十分にわかっているし、本を読むことによって想像力や表現力、その他、色々なことを学ぶことができるし、場合によっては自分の人生観さえ変えてしまうような本に出会えることもある。けれど、本が苦手な子にそのようなことを言葉を尽くして説いたとしても、伝わるかどうかもわからない。我が子にも本を読むことの大切さは教えてはいるが、なかなかうまくいかない。とりあえずは、子どもが少しでも興味を示した本を 1 日 1 行でもいいから読んでみる、本と向き合う時間を少しづつ増やしていくなら、と思う。無理強いは、やはりよくないと思うので。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

3. 図書館への意見

図書館の本の配置を工夫したほうが良い！一見して内容がわからない良書には、数行のあらすじをつけたメモを貼る。

守谷の図書館は本も充実していてとてもよいと思う。利用もしやすい。

私の経験では、親が読ませようと思って子どもは本を読むものではないと思います。本を読め読めと強制しているうちに「本=イヤなもの」という思いになり楽しくもなんともないただの義務になってしまいます。まずそう言う大人が読書を楽しんでいること、ふだんの生活で本屋や図書館へ生活に一部として行く機会が多いことが大事だと思います。長文が苦手だったら一緒に絵本を楽しんでもいいし、理科が好きなら図鑑や実験の本（マンガなど）でもいいと思います。うちの子どもの場合は、きっかけは映画でした。「チャーリーとチョコレート工場」という映画を見たあと、何気なく買った原作の本を面白く読んでいました。また、マンガの伝記が気に入って図書館から片っ端から借りて読みました。それからこれは要望ですが、私が子どもの頃にあった移動図書館があったらいいなと思います。休日に街なかの広場などに来たり、平日学校などをまわって休み時間に借りられたらいいなと思います。（小学校の図書室の蔵書は少なく古いようです）

図書館でポイントラリーのようなことをされでは？50冊、100冊ごとに手作りの金・銀・銅メダルをプレゼントするなど、子どもの興味をそそるイベントをぜひ企画してください。

子どもが夏休みに自由研究に取り組むときに使いたい本を（たとえば図鑑）取り揃えていただけたら、非常に役立つと思いますので、是非ご検討ください。高額な本などはなかなか家では購入しにくい本です。

高学年になると、塾や習い事などで図書館に行く機会も本屋さんでゆっくり読みたい本を選ぶ時間を確保するのもなかなか大変なのが現実です。本当は読みたい本は自分で探して読むのが一番だと思いますが、自分で本が探せない子、本好きでもたまにはちがうジャンルを読もうと思っているのに、キッカケがなくて探せない子のためにも、あらゆるジャンルの売れ筋・各地域の（図書館のレンタルランキングなどでも）情報があるといいと思います。そのような情報が、朝読書の時間などに知らせていいただくと、ただほかの配布物と一緒に配られるより印象に残る気がします。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

公民館図書室の開館時間が午後4時までのため、平日の放課後に利用することができず困っている。せめて午後5時まで利用できるように変更していただけないでしょうか。

歩いて行ける場所に図書館があるともっと利用すると思います。学校などでも借りて読んでいるので、今のままでいいかなと思います。

学校から帰って、宿題や習い事に追われ子どもにも読書する時間が持てなくなっているように思います。以前住んでいた江戸川区では図書館だけでなく児童館などにも図書室があり、本を手にする機会が多かったものです。守谷でも児童館などに貸し出して頂ける本などがあったら子どもだけでも手軽に本を借りに行けると思うのですが。

5年生の上の子は本が好きで、図書館にもよく「連れて行ってくれ」と言います。北守谷公民館なら1人でも行けるけれど、中央図書館の方が好きなようで、行くとたくさん借りてきて、その日はたいてい夜更かしをして本を読んでいます。でも、今でも読んでもらうのが好きで、弟（小3）と一緒に祖母に読んでもらっています。車の中でも朗読CDでお話を聞いているのが好きなので、小さな頃から本が身近にあり、読んでもらうことは大事なのかなと思います。3年生の下の子は、やっと最近になって自分でも読むようになりましたが、「読んで」と言うこともまだ多いです。どちらにしても本は自分で選ぶことが多く、特に上の子は私のススメる本ではなく、自分の選んだ本を読みます。私の親は本にはお金を出してくれましたが、私自身は経済的に大変なので図書館の利用が多いです。本と朗読のCDと、子ども向けの視聴覚資料（小さいうちはこちらが目的で図書館に行くので）の充実は、きっと図書館で本に親しむ子どもを増やす効果につながるのではないかでしょうか。（守谷の本屋さんは、子ども向けの本が少ないです）

東京タワーを予約していますが、なかなか順番が回ってこないのでまだ読んでいません。人気の本はたくさんそろえてくれるとよいです。

習い事や家での勉強に忙しい現代の子ども。そんな子どもにたくさんの本を読んでもらうため、本を読むことを好きになってもらうため、やはり、小さい頃からの読み聞かせや図書室（館）の利用が必要だと思います。小さい頃であればごほうびがあったり、喜びがあったら良いと思うのですが。ごほうびならば、図書室（館）の利用でシールがもらえたり、教室に表を貼ってたくさん借りて

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

いる子のところにお花をつけたり、上級生（高学年）であれば、図書室（館）の利用者NO.1などで賞状を出してあげる…などというのはいかがでしょう。また上級生が下級生に本を読んであげたり、図鑑を借りて外へ持つて出て、花や昆虫と一緒に見て、（図書館の周辺などで）探してあげたりする時間をもてたら良いのでは？と思います。（学校単位ではなくて、他の学校でも一緒に活動できたら友達作りの場としてもいいのでは。）

私は子どもの頃から読書が大変好きでした。他の兄弟にも読書は身近な物でしたが、その要因として、当時住んでいた市で土曜の午後隔週で近くの図書館へ登校班で本を借りに行くのが、地区の決まりになっていたことが大きかった様に思います。当時とは社会情勢も違いますが、せっかく立派な図書館がたくさんあるのに、あまり子どもの利用している姿が見られないのは残念なことです。また、小学生のことではありませんが、中学に入ると部活動で本を借りに行く時間が少なくなってしまいます。けやき台中学校は月曜が部活動の休みの決まりになっていますが、ちょうど図書館も休みになっていて平日の利用がしづらくなっています。利用しやすいように調整はできないものでしょうか？

もっと幅広いジャンルの本を置くと良いと思います。図書館利用はしません。なぜなら、勉強部屋になってしまいませんか？読書が重いイメージになっていて足を踏みこめません。ましてや、下の子どもなど幼い子を連れていけない場所になっているから。

市の図書館は絵本が多く、幼稚園くらいまでしか使用していません。借りたい本はいつも貸出中で予約が必要だし、人気のある本をもう少し多めに。重い本が単行本になることがあります。そういう本は予定していないのでしょうか？

本を読むようになる・ならないは、育て方とは一致しないと思います。姉弟で同じように育てたのに、姉の方は、よく読んでいます。また、親が言わなくても、好きな子は読むし、活字が嫌いな子はどんなに働きかけても長続きはしないように思います。しかし読書は、した方が脳の働きのためにもよいと思うので、本の種類にこだわらず、マンガや小説、子ども新聞、図鑑など、いろいろな物を紹介してあげてほしいと思います。また、ポイントカードなどをつくり、借りた本の分だけ、スタンプを押したり、何かしらのプレゼントと交換できたり、子どもの意見に耳を傾けてほしいと思います。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

4. 学校などの施設への意見

年間何冊読んだかによって賞状などを与えるようにする。

私の小学校では、図書の先生がおり、毎日、長休みの時間や放課後、児童が個々に図書館で本を借りることができていました。また、調べ学習などの本を使って仕上げる課題があまりないように思えます。パソコンばかりでなく、図書館にある本を使うような宿題を週末に出すなどすればいいなと思うことがあります。

本が置いてある公民館はとても遠く、気軽に借りに行くことができない。子どもだけで（一人で）気軽に本を借りに行ける所があると良いと思う。学校の図書室、高野文庫などが一番身近に本とふれあえる所だと思う。図書室の本の充実を願うのは少しおこがましいように思う。高野文庫もボランティアの方々に感謝しているが、貸出時間が短く、ゆっくり選んでいられないのが現実である。

小さい頃は絵本を読んであげてもあまり喜ばなかった子でしたが、今は下の子に読んであげていると一緒に聞いているので、昔より本に興味が出てきたように思います。意外と高学年の子でも読み聞かせは好きなのかもしれない、学校でもなるべく多くの機会を作ってみてほしいです。

家では、テレビや遊ぶ時間が多いので学校で積極的に読書の時間を増やしてもらうと良いと思います。

家で読み時間を作っても自主的に読もうとしないで学校でみんなが読む時間があれば今よりは読むようになると思います。ただ学校まかせだけなのも良くないと思うので家でどういう本を読んだか、どう思ったかなど話をする時間をもつことが大切だと思います。

学校でも読書環境の充実をよろしくお願ひします。

週に何回か図書館で本を借りて、子どもが読書を好きになればいいと思います。

近頃の子どもは忙しく、読書時間を十分にとることが難しくなっているので、学校で朝一番に30分ずつくらい、読書タイムを設定しても良いのではないで

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

でしょうか？集中力をつけることで一日の良いスタートとなるのでは。

問11ですが、家へ帰宅すると習い事や家族の時間、早寝早起きを考えると家庭での読書の時間が持てません。学校などで時間を作ってもらえばうれしいのですが、難しいのでしょうか？

読書の時間と国語の読書感想文、図工の絵（感想画）総合的に考えてやってもらいたい。

あまり本を読まない子は何を手にとって良いのかどの本がおもしろいのかわからないと思います。図書室などに人気の本のさわりだけ書いたものなどを張ったり、先生方などにこんな本があるよ！など興味を持たせるような方法があればよいのかと思います。

自宅ではどうしてもテレビやゲームが主体となってしまい、本を読む時間が、マンガを読む程度しか現状では取れない状態です。お手数ですが学校などで読書時間を増やしていただけたら幸いです。

今の小学生は忙しすぎると思います。1年生のうちからほとんど5時間授業で、遊ぶ時間も少なくとにかく学校での時間以外の何かを断念しないと別の何かができない状況です。そのため。睡眠時間や食事の時間（もしくは食事そのもの）をけずって、他の時間にあてている家庭が多いのではないでしょうか。でも、これは長い目で子どもの将来を考えたときには大きな問題をひき起こしかねない原因・誘因になるように思い心配です。学校や塾における学習が大切なのはもちろんですが、それと同じくらい本を読んだり、遊んだり、友達とけんかして仲直りすることなども大切なのではないかと思います。まずは、子どもの生活時間全体の見直しと時間的・精神的なゆとりを取り戻さないと、読書そのものが難しいのではないかでしょうか。

子どもは本を読むより、テレビゲームの方が簡単で面白いと思っています。家庭でも本を読む時間をつくりたいと思いますが、なかなかうまくその時間が作れません。学校で毎日、10分でもよいですので、本を読む時間を持つてもらい、本から想像の世界が広がる面白さを味わっていと思います。毎日少しづつ、継続することで、自然と読書の楽しさを味わえるようになってほしいと思います。

小学校では、読書カード配布などで、自主的な読書を奨励しています。また、図書室だけでなく、各教室にも本棚があり子どもがいつでも手にとって本を見

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

ることができるようにと設けられているなど、すでに読書推進に心がけていただいていることに有り難く思います。一案として、朝読書（始業前）や昼休み読書（休食後の短時間）などに読書タイムとして日常に取り入れて読書の習慣をつける目的で試みても有効ではないでしょうか。

幼稚園や保育所・園では、日常的に絵本を読んでもらっていると思いますが、小学校に入学したとたん、先生から絵本を読んでもらうということがなくなります（たいていの小学校はそうだと思います）。月1回ボランティアの読み聞かせも入っていますが、学校の先生方にもぜひ読み聞かせをやって頂きたい。特に国語の得意な先生には日本語の美しさを体感させていただきたい。科学に強い先生には科学絵本をぜひ読んでいただきたい。

学校で勉強も大切だと思うが、毎日少しずつでも集中して読む時間を持つてみたらいいのではないか。大勢の中で落ち着いて集中する力も養えるのではないかでしょうか。

読書は文章の読解力・表現力を養えると思います。また、人として大切なことも学べると思います。読書により落ち着きや、辛抱強さ、心の豊かさを得ることにもつながると思います。ただ、宿題、習い事、遊び、基本的な生活習慣の両立をはかるのは結構厳しい面があると感じています。

ゲームに出会う前に、楽しい本、読書の楽しさに出会うことが大切と思う。小さい頃の読み聞かせの習慣は大事。どんな本でも、その子が楽しい！おもしろい！かわいそうなどと思うことが大事だと思うので、ジャンルは問わず、本からいろいろな感性を養ってい。宿題でよく音読が出るが、たまには、読書（黙読）でもよいと思います。小学校5年生では、たまにあります。たくさんの中の本を読むと表彰されたりしますが、同じ本を何度も読みたいことだつてあるはずです。何が大切かを、子どもの将来を考え取り組んでい。

おすすめの本を何冊かとりあげて、皆で読むとりくみ時間をつくっていく。本の楽しさ、発見を見出せるよう、工夫して子どもに紹介する。

子どもの興味を引きそうな本を置くようにする。学校や市は所有冊数にこだわり、古い本でもなんでもおかまいなしに置いているようですが、手に取らない物は古くなったり傷ついていたりするので、どんどん新書を置くようにしたらいよと思う。

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者**

学校での読書タイムの時間をもっと長くするようとする。1週間に1回1時間ぐらいとか。

市の図書館には子どもが学校から帰ってきて、宿題、習い事などに時間が取られ、余裕ができたときには夕飯の支度に親が忙しかったりして行くことがなかなか困難になっています。学校の図書室はよく利用して、伝記物やおばけ話などよく借りてきています。雨の日のお昼休みなどに、図書の先生が「かみしばい」を見せてくれたり、低・中・高学年向けのおすすめ本などを積極的にお知らせしたり、子どもとの交流をもう少し深める努力をしてほしいと思います。個人的に、図書の先生は日々何をしているのか、よくわかりません。

50 冊読むと賞状がもらえるそうだが、賞状が早くほしいようで年齢に似合わない本を読んでいる。学校でその年齢に合った本を薦めてほしい。

学校で市の図書館の本を簡単に借りられるようにすればいろいろな本が読めると思います。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

## 5. その他の意見

現在週休2日制で読書時間を増やすのは難しいのではないかと思います。テレビ、ゲームなども種類が盛んであり、ゲームを持っていない子は仲間はずれというのも現状です。作文（学校）コンクールなど、もう少し増やしてみてはいかがでしょうか。そうすれば必然的に読書せざるをえないし、それをきっかけにもっと興味を持つてくれる子もいるはずです。

子どもは読書にさく時間の確保が物理的に難しいのではないかでしょうか？忙しすぎると思います。私は子どもにたくさん本を読んでいと思っているので、自分や夫（親）が本を読んでいる姿を見せたいと思っているのですが、私も夫もなかなかゆっくり本を読む時間がとれないのが現状です。先日NHKのニュースの中で学校の読み聞かせで結末まで読まずに「続きを読み自分で読んでね」という試みについて伝えているのを見て、とても面白いと思いました。本に興味を持つきっかけをさりげなくつくりあげることで子どもが本に関心を持つこともあるのではないでしょうか。それから移動図書館が自宅のそばに来てくれたなら本を借りることも少し身近になるかもしれないですね。

強制では好きになれないで、子どもが読みたいときに好きな本を読むのを自然に任せていいと思っています。

小学5年生にもなると好きなもの、興味のあるものがはっきりしてきます。それに合わせた本を子どもと一緒に探してあげるのもいいのではと思います。そして本の内容について話し合ったり、親子で楽しんでもいいと思います。私も必ず、子どもの読んだ本は読むようにしています。また、幼児期の読み聞かせも大切なと感じます。本は楽しくおもしろいもの、想像することができるなど小さいうちから感じられたら、きっと好きになると思います。

私自身もそうですが、おもしろい本は時間がたつのを忘れるほど夢中になって読みます。子どもにも、好きな傾向の本を探して勧めています。どんな本でも、一冊でも自分にとって時間を忘れるほどに夢中になれる本に出会えたら良いと思います。

初めは音読の宿題があったので仕方なく読むようになりいろいろな種類の本を借り、本人の興味のある本に変えていき、最近はゲームの背景や歴史など自分から読みたい本を選べるようになってきたので、きっかけは何でも自分が興味を持っているいろいろな本にふれられるように、いつもいろんな本を読めるよ

保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校 5 年生の保護者

うにしていきたいと思います。

一緒に同じ本を読んで感想を話題にしたりするのも楽しいと思う。（親子、友だちなど）

本が身近にあることが本を読む習慣がつく条件の一つではないかと思っています。私の実家には、父の本がたくさんあって、少しづつ手に取って読んでいました。本を読むととてもほめてくれました。学校で本を読む時間を持つことは大切ですが、家庭でも、少しの時間でも読書の時間をつくれたらいいのになあと考えています。

興味がある本を探す、という行動を起こすまでに時間がかかるので、「どうすれば読みたい本が見つかるか」をわかりやすく教えてほしいです。

いつでも手の届く場所に本を置く。本の嫌いな子どもは絵本や短い文章の本などから読み聞かせる。学校などでも読み聞かせ（先生や PTA の協力などで）の時間があるといい（週 1 回くらいの朝自習や業間休みなどを利用して）低学年なら紙芝居や図書館にあるような大きな本なども読書に興味を持たせるのに効果的だと思う。

公民館の図書室が近くにあるので、子どもが小さいときからよく連れて行っていました。おかげで子どもは本が好きになってくれたような気がします。

子どもが小さなときは絵本や物語を読んであげました。しかし、小学 5 年生にもなると読んであげる機会も少なくなり、本人まかせになっています。私自身もあまり読書することができないので、家庭で読書する機会をつくりたいと思います。

私は絵本が大好きです。子どもに本を読むときに自分が入り込んでしまい、泣いたり、感動したり、ときにはおこったり。今では娘たちも本が大好きになり、私のために図書館から本を借りて来てくれて、一緒に楽しんだりしています。例えばタイガースが大好きになるように、子どもが本を好きになるかどうかは、幼いときの親の読み聞かせが本当に大切だと思います。親が楽しんでいなければ子どもは興味を持てないと思うのです。

テレビゲームやカードが多いため、本を読むことがなくなってしまっている。学校から帰るとすぐに友人が来てしまうので（カード持参）読書をする時間が

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者**

ないのではないかと思います。

今の子どもはゲームやビデオ、DVDなど、すぐ手が届くところに楽しいことがいっぱいあって、本に目が行かないことはとても残念です。学校での朝の読書で本に触れるくらいで、自宅で本を読む姿はほとんど見られません。時代のせいなのでしょうか？悲しいです。

読書は自分が本の主人公になったつもりで読んだり、登場人物になったつもりで読むと、1冊の本が何通りものストーリー性を帯びたものになり、自分の思い入れが強くなればなるほど、その本への愛着も増すと思います。（ときには友として、ときには良き相談役として存在することもあるのではないか。）活字を読むというのはIT社会の中で唯一漢字や日本語を知覚したり確認したりでき、日本文化の伝承にも役立つと思います。近年正しい日本語を話せない書けない人が増加し、漢字の度忘れが加速している中で、読書と作文がより重要になると感じます。厚い本に挑戦できる子どもはともかく、本離れしている子どもには幼児がよく読む絵本を楽しんで読んだり、そこから作者が伝えたかったことや登場人物の気持ちを考えることで、どんなことも軽んずることなく、ただ読み流すのではなく能動的にそこから何かを掴もうとする気持ちも出てくるのではないか。）（本に対する抵抗も消えるかも？）生活の時間など（3学期に）で1年間、学校で描いた絵を素に自分のオリジナル絵本を作る（必要なものを切り取って話を考えて、それらを合わせて作る絵本）など、思い出はあるけれどゴミになってしまうようなものをリサイクルして一生の宝物を製作してみると、本を作る人、文を考える人、絵を描く人の気持ちや思いも理解でき少しあは違った見方もできるかもしれません。長々を書いてしまいましたが、私自身も正しい日本語や漢字をうまく使えていません。ただ読書は（本離れした子どもに）周囲が「読書の大切さ」を言っても、そのときだけしか読まないと思うのです。ですから受動的ではなく子ども自身がその気になり、能動的に本に向かえるようにならないと今後読書離れは進むと思います。ちょっと視点をずらしたり、こんな見方こんな考え方もできるという多面的、多角的な物事の捉え方を学ぶチャンスをえたたら、もっと興味を持つようになるのかもしれません。

学校の図書館は種類や数に限りがあると思います。市の大きな図書館へ学校から集団で行くツアーやなど行い、図書館を利用する楽しみ方を指導するのはどうでしょうか？図書館が子どもにとってワクワクする場所となり、読書がより身近なものになれば幸いです。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

父親が「本を読まなくても勉強はできる」と子どもに常に言うので、子どもはそれを鵜呑みにして読もうとしませんが、家には読みきれないほどの本があり、いつでも読書できる環境にしてありますが、どうしても読もうとしません。このような場合どうしたらよいのでしょうか？読書好きでも勉強のできない人がたくさんいるということを父親に言われ、困っています。読書を学校に任せのではなく、家庭で読ませるべきだと思うので、何とか子どもに家で読書させるようにしたいと思います。

本をたくさん読んでもらいたいと思っているのですが、ゲームに夢中で困っています。どういう本を選べばいいかもよくわからないので図書館にでかけてみようと思いました。

本を読まない子に読ませるのは難しい。無理に読ませて得るものがあるのかと思ったりする。本を通して親子で話題がふくらめば良いなと思うこともある。

近所の公民館だけでなく、子どもが自分で守谷市内の図書館へ行く方法があると今よりもっと利用でき、たくさんの本に出会うことができると思います。「やまゆり号」など乗り換えなしで中央図書館へ行かれる方法があれば、子どもももっと自主的に読書意欲が湧くのでは？

私（母親）はほぼ毎日、就寝前に読書する。家族も本を読む姿を子どもは目にしているが、本人の頻度は少ないようと思う。てつとり早く視覚に訴える、テレビアニメやバラエティ番組、友人との交流に不可欠となったゲームに興味をそそられるのが一因と思われる。今ある雑学的知識や情報は小学校から高校生にかけて、大量に読んだ本のお陰と確信している。常識として知っているべき事柄をあまりにも知らなさすぎる（わが子も含めて）。朝の読書など、半強制的でも子どもに課すべきと考える。

年齢が上がっても読み聞かせは大事だと思う。

子どもが面白かった本を友達に紹介し合う機会があると良いと思います。

学年があがるにつれ本の活字が小さくなり、文も長くなりますが、本を読みなれていない今の子どもにはまず「きっかけ」そして「読みやすさ」「内容の楽しさ」が必要だと思います。まず読んでみて、「楽しさ」を体感できないと、続きません。例えば、「ドキドキする」「ほっとする」などの内容のものでまずは短い本を選び、ドキドキするところを少し話し、子どもが興味を持ったら、

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者

続きを読む自分で読むようにするなど、工夫が必要だと思います。手間かもしませんが、先生や父兄で子どもの知っている人を主人公にして物語をつくり、読ませるのも良いかもしれません。今の子どもは「楽しい」と感じないと興味を持ちません。ゲームやＴＶに負けないようにするには昔と同じではダメかもしれませんね。

私事ではあるが、我が家では全員がよく本を読む。子どもには本ばかり読んでいるので、「読むな！」とか、「週3冊まで」とか制限をつけているくらいである。私が思うに、本の好き嫌いはその楽しさを知る環境にあるかないかの違いだと思う。我が家子どもの読書の問題点は、大量に読書するため一つ一つの作品を大切にしていないのではないか？心を育てるような感動や感想を持たぬまま、流し読みしているのではないか？と思うことである。読書するに当たり、大切なことは量ではなく質であると考えると、一生に一冊の愛読書がある人のほうが豊かな読書と言えるのではないか？

守谷市の広報の中で、小学生のためのページを作り、その中で図書館のおすすめの図書を載せたり、感想文を募集したりなどしてそれを掲載する。とはいってもやはり、子や親に読書に関して興味がない場合はあまり効果がないと思われる。小学校を中心に読み聞かせや、課題として週に1冊は必ず読むようにというふうに読書を習慣づけるようにしていくのが一番良いかと思う。自宅では、やはりゲームやテレビを見るようになってしまふと思うので。また、習い事や宿題などで、なかなかゆっくり読書する時間がないので、週末は読書を宿題に出すというのはどうか。

守谷の図書館は、内容が充実しているので、助かっています。小学校の図書室も環境もよく子どもは幸せだと思います

本をたくさん読んでカードがもらえるという学校図書館の試みはとても良いと思います。

家でどんなに「読め、読め」と言ってもぜんぜん読まないので、学校で読書の時間があるのは本当に助かります。強制でも読む時間があるのとないのでは全然違うと思うので。これは読まない子どもの家庭の意見です。

幼稚園生までは、読み聞かせ、紙芝居など、いろいろやってみたが、自分で読むことはありません。今だに苦手なようです。自分は気付いたときは、本が大好きでしたが、読み聞かせてもらった記憶はありません。どちらかと言うと、

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 小学校5年生の保護者**

レポートを書くなど苦になりませんが、子どもはなかなか言葉が出てこずには、苦労しているようです。このあたりに差がでてくるようで読書は必要なことだと思いますが、本人が読む気がなくてはどうにもなりません。どうしたら好きになるのか？方法があるのでしょうか。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

## 1. 策定に肯定的な意見

読解力と読み書きが低下しているのは読書離れに大きな原因があると思います。そのために他の教科の問題の意味を理解するのに時間がかかるなどの弊害が生じています。多種多用の誘惑を断ち切るのは親の強い信念が必要だと思いますが、社会全体が危機を感じて何か対策を早急に考えないといけないと思います。

毎朝「めざましテレビ」などで今週のベスト10や書店情報を見ているので、子どもに良いと思う本はチェックしています。このような情報や、先生方のおすすめの本などを子どもに教えていただけたら良いなあと思っています。図書館に先生方おすすめコーナーがあると良い（先生方が中学のときに読んだ本や最近読んでよかったですと思う本など）。図書館の伝言板などに、子どもの本の感想やイラストを書いたメモ（B5版くらいの用紙）を提示しておけば情報交換にもなると思います。

今流行の本の情報は、テレビ、新聞などで知ることができます、それ以外の情報はなかなか手軽に入らない。私も本好きだが、子どもの好みとは違うので、私が勧めた本が必ずしも気に入るとは限らない。本好きの友達や従兄弟などから、おもしろい本を聞いているが、なかなか情報が集まらない様子だ。それぞれの本の内容の簡単な紹介や「こんな本が読みたい」という希望に答えられる「何か」があれば嬉しい。

小さい頃から絵本を読んであげる。また、学年に関係なく中学生にも絵本を読み聞かせたりすると、本に興味をもってくれると思う。無理に読書させたりするとマイナスになる。まずは興味をもってくれることが大事ではないでしょうか？

本を読むということは想像力を豊かにし、テレビやゲームなど目から入ってくる物じゃなく頭の中に描かれて脳を刺激していくものだと思います。上の子のときには私自身も子どもに本をたくさん読んであげましたが、下の子のときには読んであげる時間がなく、今、とても後悔しています。今さら遅いとは思いますが、でもまだ今だから間にあうのではないかと朝日新聞の無料中学生新聞をとってみたりしています。具体的に何か本に目が向くような物があれば教えて頂きたいです。

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者**

我が家は娘は自分から本を読もうとしません。読んでやると聞いてくれます。何とか自分から本を読んでほしいと思っています。ときどき姉から「この本は面白いよ」とすすめられた本を朝の読書の時間に読んでいるらしいので、お友達同士で本を紹介しあえる場があれば読んでくれるのではないかと思いました。

読書の時間を持てるようにする。子どもは、周りに影響される。周りが読書好きになる。

本が好きではない子は「読書したら？」と言うと、「何を読んでいいのかわからない」「字ばかりで入りづらい」などと言います。最初のとっかかりをほぼ強制的でも宿題や授業の一部などで本の紹介をしていただけたとだいたいのあらすじを知ってこれなら読んでみようとか思うのではないかと思います。漠然と読書しなさいでは意味がないと思う。

本を読むだけでは、本に書かれていることを半分しかわからないと思います。本を読んでそこから自分なりの考えや想像を発展させていくような足がかりがあると良いと思います。人とのコミュニケーションや観察力などがつくとより本を楽しめるようになると思います。個人的には、ゆっくり朗読を聞けたりした経験が良かったです。その後、感想を言い合える場があると良いと思います。

私は小さい頃から本を読み空想したりするのが大好きでしたが、その逆に外で遊ぶのが好きな子もいるでしょう。やはり本のすばらしさを教えるには読み聞かせが必要では。授業中に読んで聞かせる（できれば上手な人に）、こんな考えがあるのか、こんな人生があるのかと思えるような本を、簡単な物語もいいのではないかでしょうか。学校でも読書時間があつてもいいかもしれません。親が字の嫌いな子どもには、やはり第三者が教えてあげないとなかなかすすんで読まないので？

本を選ぶときの方法として、（小学生向け、中学生向け、感動する話、伝記、スポーツもの）などのようにどんな内容かと少し理解できるようなインフォメーションがあると良いと思う。

強制することはよくないと思うが、あまり本を読まなかつた子が、学校の朝の読書の時間に本を読み始め、いろいろなジャンルの本を自宅から選

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

んでいった。10分～15分でいいから朝精神を落ち着かせるためにも、こういったことは続けてい。読む子は何もいわなくても読むわけだし、読まない子には朝の読書の時間を通じて、読むことの大切さを教えてほしい。

私自身が、本が好きで市の図書館など良く利用させて頂きます。学生のときは、学校の図書館を利用しましたが、その時代、年令で興味も変わり本の内容に制限なく、今読みたいと言う関心の持てる本を自由に手にとって読んでいければ良いと思います。本を通して、子どもの心が豊かになってくれればと思います。

読書の時間が学校では10分間だそうですが、もう少し増やせたらと思います。本を読むことによって色々な世界が広がることを知っています。その為にはたくさんの本に触れる機会があればと思います。

図書館にも書店に売っているようなベストセラーや新書を出せば、子どもは図書館で本を読むようになると思います。

本をたくさん読んでいるお子さんが紹介カードのようなもので、すすめてくれると良いと思います。（自分が子どものとき読んだ本をすすめても興味を示さないので）。感想文は負担になるのでできれば強制ではなく読むだけで良しとしてくれたら、もう少し読むのでは？他のことに追われて、本を読む時間がとれないのも事実です。

私自身は子どもの頃から現在も読書が大好きですが、読書感想文を書くのは好きではありませんでした。中学生の頃は夏休みの宿題の読書感想本のために読む本は楽しくなかったし、中学の頃読書から遠ざかってしまった原因のようにも今感じます。読書感想文は必要なものでしょうか。自分の興味のある本を選びそしてその本の世界にどっぷりつかって楽しむ。それだけでよいように感じています。

読書習慣のある子どもには特に対策は必要ないが、それがない子どもや家庭に対しての方策はかなり難しいのが実情だと思う。ただし、ハリー・ポッターなどは、読書をしなかった子どもも読んでおり、こうしたきっかけを大事にして読書（本）が楽しいことを伝えていくことも考えられる。

自分自身小学生の頃、週1回必ず図書館へ連れて行かれ、数冊本を借

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

りるよう、親に決められていきました。しかし、嫌々でした。中学1年のときのクラス担任の先生が国語の先生で毎朝3分間読書スピーチをさせられることになりました。しかも、文庫本でなくてはダメという決まりつき。しかし、それを1年間続けているうち、ある本との出会いがきっかけで、読書好きになり、本のない生活が考えられないぐらいになりました。子どもの意志、目覚めを待つことで、育つ子もいるでしょうが、私のようにそうせざるを得ない状況の中ですてきな出会いがある子どももいます。これこそ、経験豊かな大人の導きというものではないでしょうか。最近は子どもも気持ちをおもんばかりの余り、導き、きっかけを与えるという大人のよき指導が足りないのでしょうか。

絵本を読み聞かせる年頃が終わると、本を読むのは自分の意志が働くかなないと無理だと思います。自分の興味がわく本、楽しそうに感じる本、または感動する本を図書室や図書館から探し出すのは、我が子の場合はできないと思います。その理由に読むのは面倒だという感じがあるからだと思います。まるで小学校時代に宿題に出た音読の延長のようです。本を読み宿題に出る感想文を書くという作業も読書を面倒にさせている理由の一つにも感じます。中学生にふさわしいというより、その子にとって読みやすく楽しめる本が身近にあって自由に読める方法がとれれば読書がもっと楽しくなると思います。

身近なところに本を置く。地域に図書館・図書室を置く。身近なところにゲームセンターなどを設置しては、落ち着いて本を読む子が少なくなるのでは。

読書する環境を整える。リビングに本棚（いつでも本を手にとることができる）。テレビやゲーム機をなるべく使われないようにする。小さい頃から、日曜には図書館に家族で行く習慣。親や大人が本の選択を押し付けない。

部活動や塾などでなかなか時間が取れないのが現状です。私自身読み始めると途中でやめることができがなかなかできないので、まとまった時間を作るよう努力して親子共に読書の日を作っても良いのではないかと考えています。テレビやゲームを見ない・しない日というのが学期に1日でも作れればと思っています。小さな頃は暗記をするくらい良く読んでいたのが、学年が上がるごとに読まなくなるのは、他に興味を持つことが多くなるの

保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

が原因のひとつなのではないでしょうか？

読書の重要性、楽しさについて教えて。読書感想文の提出をもっと増やして読書を日常生活の一環として溶け込ませてい。

近頃、本屋でもやっているような推薦本を貼り出しています。本屋の店員同士が（店同士）おもしろい本をパソコン上で紹介したり、店頭で短い文章を添えて本を売っていますが、読む本を探しているときに参考にしながら選べます。これを利用して職員に推薦してもらうのも良いですが、一般の市民や子どもが短い文（3～4行位）推薦してくれたら同世代の子どもも楽しみを探しやすくなりませんか。

朝読書の時間は今各学校で取組が多くなっており、読むチャンスを作っていることは良いと思います。あとは本人がどんな本を選ぶのか。雑誌、情報誌ではなく読書にふさわしい本選びが大切なとも思います。本屋に行くことは好きなのでまた親が読んで良いと思ったものを（強制ではなく）すすめるのも大切と思いました。親も読まねばいけませんよね。

「おはなしのろうそく」は読みましが絵本から児童書への時期（小学生の頃に）にはほとんど読んであげなかつたので、高学年になつても、中2の子はあまり読みませんでした。私が子どもの頃は学校の先生が（中高）国語の時間によくお勧めの本を紹介してくれたのですが、ノートの端にいつもブックマークとともに本の題名を書いていた覚えがあります。他教科の先生もそうでした。今はどうなのでしょう。家庭生活（教育）に環境も大切ですが、子どもは学校の先生の影響も強く受けると思います。先生方が忙しいなら、本好きで詳しい人が学校にも居ることが大切かと考えます。

興味のあることを深く追求しようとする意識を持たせることが必要だと思います。日頃の会話の中で、得意なことや、興味のあることに同意し、親も共感する。初めは、マンガやコミックからでも興味は発展するのでマンガを読むことも大事だと思います。

良い本（おもしろいとか、ためになったとか）に出会うと、他にもないか？と探したくなると思うのでそのきっかけとなるように国語の授業や教科書に伝記などを増やして、生き方、考え方、価値観などに興味をもつと良いと思う（私の場合ですが…）。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

ときどき、小学校で本の読み聞かせをする活動に加わっていますが、子どもは本が決して嫌いではないと思います。自分の子どもももそうでしたが、例えばゲームやテレビなどもそのときの興味の比重が大きい方へひかれてしまうだけで、子どもは本来、本を読んでもらったり、読んだりするのは個人差はあれ好きだと思っています。親としてもっと本を読んでほしいと願ってはいますが、そのために学校で強制的に読書に時間が増えたり、読書感想文の宿題が増えたりするのはいいことだとは思いません。ただ、朝自習などに読書を取り入れたり（読書以外の勉強をしてもいいと思います）調べ学習に図書館の利用をすすめたり、授業の折に関連の本を積極的に紹介するような感じで、子どもが本にふれる機会を増やしてほしいと思います。図書館でも今も行われている読み聞かせサークルの活動や子ども対象の読書の啓蒙活動を積極的に続けていってほしいと願っています。すぐ結果が出るようなものではないのですが、大切なのは種をまき続けることだと思っています。

私が思うに、本の好き嫌いは何といっても幼児期の家庭環境に左右されると思います。入園前、親や大人に寝る前や時間のあるほんのひとときでも読んでもらったかどうかに大いに左右されると思っています。それによって入園後、園内にある本を見ようとするか、しないか！それもあって、入学後もそれらの「根」があって友達にすすめられて好きになったり、それぞれの好みの本について友達の中で感想を言いあったり、小さいときの「根」によりせっかく小・中学校と読書好きになる良い環境が与えられても、長くは続かないような気がします。それでも、ある日、突然、友人のすすめや、書店、図書館で目にした「本」を読む気になってそれがたまたま心に入る内容であったならまた次の本、そのまた次の本と増えるのではないかでしょうか？ここ数年、朝の「読書時間」は大いに賛成です。ずいぶん校内の図書室を利用する人が多くなったのではないでしょうか？市の図書館も一時期、ずいぶん母子で利用しました。久々に借りようかしら？

学校で読書の時間があると年間にしてかなりの量を読むことができる。それが結果として読書好きになっていると思うので、ぜひ続けてください。

私は今読み聞かせの活動をしていますが、聞いている子ども達とても真剣で、また読み聞かせの日を楽しみにしてくれています。そういうことを触れて「自分も読んでみたい」と思う子どもも増えたように感じます。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

読書をする機会を作ってあげたり、読書の楽しさや大切さを知らせてあげることができれば、もう少し読書をする意識が高まると思います。

学校の朝の読書の時間を心待ちに、大好きな著者の本を持って家を出て行くので、この制度をずっと続けていっています。

流行本はよく読みますが、昔の有名な本（夏目漱石、森鷗外など）は苦手なようです。

子どももゆっくりできるのは夜遅い時間になってしまい、その時間はやはりテレビやゲームをしていることが多いようです。読書をするよう図書館などに借りてきて読むように渡しても、手をつけないことが多いです。

小学生の頃、私たちの担任の先生が毎日何かの本を朗読してくださいました。30分くらいずつ連続ドラマのように「つづく」といった感じで、次の日が楽しみでした。人生には大切なものや大切なことがたくさんありますが、「本」という存在は、また特に心の友達であり、子どものために良書に出会える機会を大人が作ってあげたいと感じます。

学校で皆と一緒に読書の時間を設けるという方法が、一番子どもが本に向かえる時間になると思う。子どもの頃、本を読み聞かせる時間をあまり作らなかつたことを今更ながら後悔している。

興味を持ちそうな本を読ませるか読んであげることにより、本を読んでみようという意識を持たせる。

子ども自身がどのジャンルが好きかを見つけることができるようになれば、本が身近なものになると思う。それには①本の紹介をしてもらう。子ども、家庭に向けて（話し合うきっかけにもなる）値段も分かるとうれしい。②学校でも読書の時間を設ける。（年齢的なものもあると思うが、年令があがるにつれ読書があまり好きでない子に読書をさせるのは難しい。）

中学生の段階でゲームをしてはいけないと言ったからといって、本を読むようになるかと言えば、それはまったくわかりませんが、本を読むことは楽しいのだということをわかつてもらいたいと思います。想像して文を

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

読むのが苦手なので目から直接入ってくる法を選びがちです。（ゲーム、マンガ本など）

小学生以下の読み聞かせは多くの場で行われています。中高生に対しても読んで聞かせることはとても大事なことではないかと思います。忙しいカリキュラムの中で時間をさくのは大変だと思いますが、読み聞かせの場があったらと思います。

テレビやインターネットなど、情報をすぐに入手できる世の中になり、考える、思いやる気持ちが薄れてきているように思います。読書は知識の習得、心身の育成にも役立つ大切な習慣だと思います。1時間でも、毎日本を読む習慣をつけるように指導しつづけること、同じ本を読んでも人それぞれ感じ方、考え方方が違うでしょう。感受性をみがくよう、共通の本を読ませて感想を発表する訓練が授業にあると良いかもしれません。

小さい頃はよく読んでいたが、小学校に入ってから読まないようになった。小学校時代、読書をする習慣を作るのが大事かと思います。読む時間を十分に作ってあげること、周りでよい本を紹介すること、本と関わるきっかけをたくさん持たせることが大事。

子どもが読書に興味を持つように、読んであげたり、買ってあげたり、また、学校などでも読むようにする。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

2. 策定に否定的な意見

本を読むことが大切だということは良くわかっているが、時間に余裕がなく、本を読む時間があるなら今覚えなくてはならない単語数学をしてほしいと思うのが実情です。

子どもに本を読んでい気持ちが幼少の頃からありました。小さい頃毎日寝る前に読み聞かせをして興味を持つようにしてきましたが、その成果は残念ながら出ませんでした。なので、本を好きになるのは本人に任せるしかないのでは？

保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

3. 図書館への意見

私が小学生だった頃、毎週土曜日に電車に乗って本を借りに図書館に出かけていきました。毎回15冊～20冊を借りてきては昼食を食べずに本を読み続けていました。当時、図書の貸出カードはスタンプを押す方法が利用されていました。当時私の目標は毎月スタンプカードを新しくすることもありました。1週間分の本の量はテーブルの高さくらいになっていました。児童書が8割、大人向けが2割くらい。小中学生に関しては、スタンプカードなども活用してみてはどうでしょうか。スタンプ100個（＝100冊）で記念のエンピツ1本とかボールペンとか自分の読書量を目で確かめることができることのメリットも大きいと思います。

守谷の中央図書館は蔵書数も多く、館内もきれいでたいへん利用しやすいと思います。

図書館の人が学校に来ていただけるならそうして頂き、おもしろい本や良い本などを朝の読書の時間を使って、直接子どもに紹介してほしい。そうするともっと興味がわき、読書の幅も広がるのでは？親でも限界があるのでお願いしたいです。

友達との話題で本の話になったりすると子どもも興味がわき、ちょっと読んでみようかな？と思うので、学校に本の内容を紹介する広告やホームページのようなものがあり、今週ベスト10やおすすめの本などを載せておくと、ちょっと読んでみようかなと思うかもしれません。友達のおすすめの本紹介など。北守谷公民館図書室の閉館時間をもっと遅くしてほしいです。子どもも自転車で行ける距離なのに閉館時間が早いため本を借りに行けません。いろいろ新しい本を入れてほしいと思います。中央図書館も、もう少し遅い時間まで開館していくほしいと思います。

新刊ができるだけ早く入れてください。書店で買うのは決して安くないので、子どもにはなかなか手が出ない本があります。

話題になった本をすぐに図書館においてほしい。

今、学校では朝読書の時間を作ってくださっているため、毎日本を読んでいるようです。しかし、2週間程で1～2冊読み終わっております。ほ

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

とんど書店で購入するが多く、本にかけるお金も少なくありません。本を読むことはとても良いことだと思いますが、図書館にあるたくさんの本をもっと利用できるよい方法がないか考えてみたいと思っていますが、図書館の方や先生方からも何か良い方法がないか考えていただけないでしょうか？

流行している本を置いてもらえば、もっと本を読むようになるのではないかと思います。図書館に行って本を探しても、興味をひく本がなかつたと言っていたことがあるので、流行本を置いて、本に興味を持たせることができれば読書に励むのでは？

人気のある本は予約待ちなどでなかなか読みたいときに読むことができません。中学生が読みたいと目を向ける本を吟味していただいて、たくさんそろえることができれば自然に図書館に足を運ぶようになる気がします。図書館はいろいろな人が利用されます。安全面などの配慮を親としてはお願いしたいところです。

多方面の分野の本の推薦や情報を伝えてもらいたい。

子どもが興味を持てそうな本の紹介を一覧にしたプリントを定期的に発行していただければ選びやすいかと思います。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

4. 学校などの施設への意見

アンケートを書きながら、読書について子どもに勧めてこなかったことをとても反省しました。折にふれて、学校から読書について「勧めてください」と親に対して伝えてほしかったと思います。学校によって違いますが、以前通っていた学校（小学校）で、「自分の県を一周しよう」が目標で、マラソンコースのようにしたところを読んだページの数だけ色を塗っていました。とてもよかったです。それぞれ学校で先生方が工夫して子ども達の年令にあった目標、課題を与えることが必要ではと思います。

本を読むことは大事なことだと思う。しかし、忙しい日々でつい読まなくなってしまっている。子どもにはたくさんの本を読んでほしいと思う。小学校では朝の読書週間で本を持っていって読んでいたようだ。中学でも読んでいるのかどうか。少し読書タイムを設けたらよいのではないでしょうか？

ゆったりと図書室で読書できるような時間を学校でとってもらいたい。

家庭ではもちろん読書の楽しさ、大切さを伝え、読書に親しむよう促しますが、読書に親しめる環境の提供も必要だと思います。学校の図書館の充実も見直しています。

子どもは本来、読書が好きだと思います。図書館だけではなく、学校の図書室をより多く利用できるような環境を作っていただけないとよいかと思います。おすすめの本を紹介するコーナーを設けたり、本を探しやすい工夫などもすると、読書に興味をもつ機会が増えると思います。まずは身近な学校の図書室から改善していってはいかがでしょうか？

学校では朝読書の時間が設けられており、10分程だそうですが大変良いことだと思います。できればもう少し長く読書の時間を取ってほしい。

家ではなかなか言うことを聞かないので、とにかく学校でチャンスがあれば何度でも読む時間を与えて頂きたいです。

やはり本を読むことが嫌いな子どもは家でゆっくり本を読むというのは難しいことなので、学校の方で読書の時間をとり、本を読む楽しさを教

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校 2 年生の保護者**

えてほしいと思います。

今の子どもは、テレビゲームなどいろいろあるので、本の楽しさを知る機会が少ない環境にあると思う。ある程度読む時間を与え、楽しい、面白いと思うようにならないと読書好きにはならないかもしれません。きっかけとして、学校での読書の時間は必要ではないでしょうか。

娘が通う中学校では、朝読書の時間を設けているということで、読書好きな娘にとってはとても貴重な時間のようです。全員が読書に集中しているのかどうかは聞いていませんが、もしそうならさらによい時間だなと思います。時間になったら静かに読書を始める環境は、一日のスタートとしてベストだと思います。

## 保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

## 5. その他の意見

テレビを無制限に、また何気なくついている状況では自分から本を読むということはしないと思う。家庭での話し合いの上、決まった番組をいくつか見る習慣が必要。本には悪書があるということ、これを大人も子どもも認識して、売れれば良いという考え方からの悪質な内容の書物は買わない姿勢を貫くべきと思う。

現在、毎日読書の時間が10分あり、1週間に1時間の授業がつぶされている。ゆとり教育で昔より授業時間がずっと少ないので読書は良いことだが、学校での読書の時間はこのままでよいと思う。図書館はたまに利用するが、話題の本や新しい本などはいつもない。予約をすればいいと思うかもしれません、本は「読みたい！！」という気持ちのときに読まなければ気が抜けてしまって、読む気が失せてしまいます。図書館の本は古かったり汚れているものがあったりして嫌なときもあります。本屋さんで新しい本ばかり買っていても費用がかなりかかってしまいます。最近の子どもは家で本を読むことをなかなかしないと思いますので、せめて休日など図書館を利用して本に親しんぐれたらいいと思います。でも、図書館は、大人が読む本と幼児向けの本はたくさんあると思いますが、中学生が読みたいと思うような本が少ないと思います。あっても古いような本ばかりです。もう少し中学生向けのコーナーを充実させてくださるとありがたいです。高校生のレベルでは大人が読む本でいいと思いますし、幼児や小学生向けの本もたくさんあります。中学生の時期は内容が簡単過ぎても難しそうでも、読んでいてつまらないので、本選びは一番難しいと思います。内容を見てよさそうな本を大人がピックアップしてあげることも大切だと思います。

部活動や塾などで時間が足りないのが現状です。学校などの休み時間を使って読んでくれたらと思います。それもなかなか難しいかもしれません。

中学生はとても忙しくゆったりと本を読む時間がありません。それでもときとして夢中で読んでいる子どもの姿を見ますと、こんな時間が大切なんだと感じます。申し訳ありません。私自身も考えてしまします。ゆったりした時間を子どもに与えてやりたいと思います。

朝の読書タイムはいいきっかけになると思います。

保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校2年生の保護者

読みやすくて分かりやすいことが大事だと思います。

家族も本を読んでいる姿を見せ、またジャンルを問わず子どもと同じ物を読んで意見を交換し合う。一冊読んだらまた次の本とたえず読書中の本があるような読書が生活の一部になっていることが理想的であると思う。

マンガ本・コミック本も本と思っています。毎日読んでいる子どもに対し大きなくくりでの読書だと思います。

一昔前は子どもの娯楽と言えばテレビでしたが、現代ではテレビはもちろん、ゲーム、携帯電話、レンタルビデオ、そしてパソコン（インターネット）が普及し、小学校から塾通いする子もいます。我が家でも携帯電話やパソコンの使い方を制約していますが、どの程度にすればよいか悩んでいます。携帯電話は子どもは禁止などの法律でもあればよいのですが。

まずは親のほうが本離れをしていると思う。私はゲームはやらないのですが、大人のほうが子どもよりゲームに夢中になるのも考えると頭が痛い。子どもに本を読むのを押し付けるのは、逆に離している行為と同様だと思う。親が本を読んでいる姿をごく自然に見せていればいいと思う。きちんと本棚にしまっておくわけでもなくその辺に置いておくだけでも、表紙などチラッと見るたびに「うちの親はどんなものを読んでいるのだろう」と思わせて、少し開かせるようにもっていく、というのは単なる理想論だろうか。

読書はとても大切だと思うが、なかなか落ち着いて本を読む時間をとることができないのが現状です。学校、部活、塾と忙しい毎日です。小さい頃のように読み聞かせをするという時間もなかなかつくれません。

今や、本の環境がお金もうけの手段にもなっている。その現状の中で、本が精神生活に欠かせなかつた時代と様子が変わってきている。親が本の楽しみをあまり知らない家庭において、次代の子どもに本の良さを伝えていくのは難しいのかもしれない。JPIC（財団法人出版文化産業振興財団）などが、民間に読書アドバイザー・読書サポートーになるべく教育をはじめる動きがある中で、小学校に通われている母親・父親を中心に各学校において本の読み聞かせのボランティア活動も多くみられるようになって

**保護者用アンケート調査／自由記述欄 中学校 2 年生の保護者**

きた。これだけ民間レベルでも日本の教育、次代を担う子どもへの教育を考え行動するようになったのは素晴らしいことだと思う。今後、このろうそくの灯を消さないよう、公の機関はこの民間をサポートするような動きをしてもらいたい。山形県鶴岡市にある小学校は学校に司書を常時配置し、この司書を中心に教育現場も動いているといってよい。一度、訪問することをおすすめしたい。